

東京放射線

Tokyo Association of Radiological Technologists

2022年
12月号
Vol.69 No.811

巻頭言

不動心～揺れ続けない心～ 宇津野俊充

会 告

第142回日暮里塾ワンコインセミナー

お知らせ

2022年度厚生調査委員会アンケート調査事業
JART終身会費免除申請 終了のお知らせ

連 載

[消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査
第9回 注腸X線検査の精度管理～臨床画像評価を意識した撮影法の工夫～ 安藤健一

2022年東京放射線総目次

研修会等申込書



公益社団法人東京都診療放射線技師会
<https://www.tart.jp/>

目 次

スローガン

チーム医療を推進し、

国民及び世界に貢献する

診療放射線技師の育成

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 不動心～揺れ続かない心～	3
重要なお知らせ 会長の辞任および新会長就任のお知らせ	4
会告1 第142回日暮里塾ワンコインセミナー	5
会告2 第143回日暮里塾ワンコインセミナー	6
会告3 第20回ウインターセミナー	7
会告4 第17回ペイシェントケア学術大会	8
会告5 2022年度第1回災害対策研修会	9
会告6 2022年度城南支部研修会	10
お知らせ1 2022年度第3地区研修会	11
お知らせ2 2022年度第4地区研修会	12
お知らせ3 2022年度第16地区研修会	13
お知らせ4 2022年度第9地区研修会	14
お知らせ5 2022年度厚生調査委員会アンケート調査事業	15
お知らせ6 JART終身会費免除申請 終了のお知らせ	16
お知らせ7 東放技会員所属地区のご案内	17
連載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査	
第9回 注腸X線検査の精度管理～臨床画像評価を意識した撮影法の工夫～	18
こえ	
・城東支部研修会に参加して	27
・城東支部研修会に参加して	28
パイプライン	
・日本診療放射線技師連盟ニュース (2022 No.10)	29
2022年4月～10月期会員動向	30
2022年度第7回理事会報告	31
2022年東京放射線総目次	35
研修会等申込書	39

Column & Information

・東放見聞録	30
・学術講演会・研修会等の開催予定	38

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心で安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人東京都診療放射線技師会

卷頭言



不動心～揺れ続けない心～

業務執行理事 宇津野 俊充

皆さんはじめまして。本年度より庶務委員長・業務執行理事を拝命致しました、国立がん研究センター中央病院の宇津野俊充と申します。皆さまにおかれましては、日頃より本会の会務に関しましてご理解、ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。他学会にて総務などの理事をさせていただいた経験はありますが、本会の委員・理事を務めさせていただくのは初めてとなります。会務を行うにあたり、さまざまな方との新たな出会いに感謝すると共に、前庶務委員長である野口副会長が行ってきた活動を引き継ぎ、庶務として会員の皆さまの情報管理、公文書管理等を行ってまいりたいと思いますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。

今年も残すところいよいよ1ヶ月となりました。振り返ってみると北京冬季オリンピックでは歴代最多となる18個のメダル獲得や佐々木朗希投手完全試合達成、戦争による円安・物価高騰、旧統一教会問題等々…。今年もさまざまな出来事があったのが思い出されます。

新型コロナウイルスの影響は今年も大きく、オミクロン株の影響からきた第6波から始まり、6月には感染者数も減り、このまま収束していくと思われた矢先、7月にはオミクロン株亜系統BA.5により第7波が到来しました。当院でも感染者・濃厚接触者が増加し、人員配置に苦慮したのを思い出します。この原稿を執筆している10月現在、その第7波もようやく収まったところで、海外からの入国制限も撤廃され、築地周辺でも外国人観光客の姿を見るようになりました。ウイルスが始まった2020年頃と比較しますとオンラインシステムの進化、学会のハイブリッド開催やオンデマンド配信など、Webを活用しながら対面での会議・学会が増え、ようやく本当の“withコロナ”に向けて動き出しているを感じます。3年間の長きにわたり、新型コロナウイルスの収束が見えない中、現場に従事され日々奮闘されている会員の皆さまにおかれましては改めまして敬意を表します。

最後に私の座右の銘を紹介させていただきたいと思います。中学校バレーボール部の恩師からいたいたい言葉で、それは「不動心」です。日常生活においても仕事においても、日々色々なトラブルが生じることがあると思いますが、その都度落ち込んだり、考え込んだりを繰り返します。不動心とは、何事にも揺れ動くことのない精神、不動の心を意味し、動搖したり浮ついたりすることのない、泰然とした境地を意味する言葉ですが、不動心の本当の意味は「芯を持ち、動搖し続けない心」であると私は考えております。バレーボールをする際、自分にミスがあった時でも“試合に勝つ！”という芯を持ち動搖をおさめプレーしろ、と恩師に言われたのを思い出します。

もともと揺れ動くことのない心を持つことができればいいのですが、私はそこまでできた人間ではありません。動搖した際の心をいかに早くしずめ、平常心へと戻ることができるよう日々努めています。

東京都診療放射線技師会の会務に関しましても“会員・東京都民の皆さまのため”を芯として活動し、70年という長い歴史を持つ東京都診療放射線技師会を築き上げてきた諸先輩方の伝統を踏襲しつつ、少しでも新しい風を吹かせることができるよう努めてまいりたいと思います。21年度末に約2,300人であった会員数は9月現在もう少しで2,500人になろうとしています。会員の皆さま、役員、委員の皆さまからご意見を頂戴し、私自身成長させていただくと共に東京都診療放射線技師会に貢献できるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。

重要なお知らせ

会長の辞任および新会長就任のお知らせ

各位

平素より公益社団法人東京都診療放射線技師会へのご理解、ご協力ありがとうございます。

11月2日（水）に開催されました第8回理事会におきまして会長（麻生智彦氏）より、会長及び理事の辞任届が提出され承認されました。

新会長には、江田哲男氏（現 厚生調査理事／東京都済生会中央病院）の就任が承認されました。

今後とも公益社団法人東京都診療放射線技師会への、ご理解ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

公益社団法人東京都診療放射線技師会

会 告

1

第142回日暮里塾ワンコインセミナー (Web開催)

テーマ「ちょっと教えて！ がんゲノム医療について」

講師：アクトメッド株式会社 営業・マーケティング部 金子 寛樹 氏

第142回日暮里塾ワンコインセミナーもWeb開催と致します。

今回は、ゲノム医療について講義をしていただきます。2001年のヒトゲノム解読宣言以降、バイオサイエンスは、ICT技術の進歩と共に急速に発展を遂げ、医療・創薬などの次世代ヘルスケア時代に向けて新たな局面を迎えています。私たちの業務の中でも耳にする分野ではないでしょうか。ゲノム医療について興味のある方は、ぜひ参加登録をよろしくお願ひ致します。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。

本セミナーの映像などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2022年12月12日（月）19時00分～19時45分

受 講 料：無 料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※参加者にはパスワードを返信致します。

定 員：定員は特に設けておりません

申込締切日：2022年12月5日（月）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修0.5カウント付与

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第143回日暮里塾ワンコインセミナー (Web開催) テーマ「学術・教育委員が選んだ発表演題」

恒例となりました「学術・教育委員が選んだ発表演題」をWeb開催致します。

本年度開催された関東甲信越診療放射線技師学術大会、第38回日本診療放射線技師学術大会において発表された演題から学術委員、教育委員が協議し選出させていただきました。学会に参加できなかった方、参加したけれど聞けなかった方、もう一度聞きたい方、多くの方のご参加をお待ちしております。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

～演題～

ディープラーニングを用いた胸部X線画像病変検出ソフトウェアの初期使用経験

東京医科大学病院 市原 舞衣

当院における撮影線量管理方法について

東京医科大学八王子医療センター 池本 裕貴

VSRADを用いたアルツハイマー型認知症診断におけるGANを用いた体動補正の有用性の検討

東京大学医科学研究所附属病院 吉田 宜清

Single Energy CTとDual Layer CTの造影CTにおける造影剤量低減の検討

日本大学医学部附属板橋病院 大沼 汐莉

レポーティングシステムを活用した多職種チームへの所見報告

医療法人社団明芳会 イムス葛飾ハートセンター 米澤 俊和

前立腺MRIにおける歪み補正法を用いた拡散強調画像の検討

杏林大学医学部附属病院 熊谷 優真

放射線治療患者への栄養食事指導の導入

公立福生病院 土谷 健人

スタッフの育成と教育方法の関係についての考察

練馬光が丘病院 上村 亮介

胸部単純X線撮影における妊婦の胎内被ばく線量の推定

昭和大学病院 牧田隆太郎

記

日 時：2023年1月11日（水）18時30分～20時10分

受 講 料：無 料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。
※参加者にはパスワードを返信致します。

定 員：定員は特に設けておりません

申込締切日：2023年1月4日（水）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修1.5カウント付与

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail : gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724 以上

第20回ウインターセミナー（ハイブリッド開催） テーマ「オンコロジー～がん治療について考える～」

第20回ウインターセミナーはハイブリッド開催と致します。

オンコロジーとは、「がん」や「腫瘍」の原因や治療などについて研究する学問分野のことです。和名では「腫瘍学」と言われます。今回「がん」についてあらためて考え勉強しましょう。ご参加をお待ちしております。

講 師

「オンコロジーについて」	小野薬品工業株式会社	神田 和慶
「胸部領域のがんについて」	順天堂大学医学部附属順天堂医院	稻毛 秀一
「腹部領域のがんについて」	独立行政法人国立病院機構東京医療センター	比内 晴子
「骨盤領域のがんについて」	東京医科大学病院	岡本 淳一

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

参加申し込みおよび受講料お支払いにはWebシステム「イベントペイ」を使用しております。ご案内は電子メールで致します。「イベントペイ」からのメール送信となりますので、ドメイン指定等されている場合は受信できるように事前に設定をお願い致します。

フリーメールをご利用の場合、迷惑メールとして処理される可能性がありますので、迷惑メールフォルダや削除済フォルダ内をご確認ください。

申し込みは下記のアドレスまたはQRコードからお願い致します。

https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=3967236673917779&EventCode=P013850915

一度お申し込みいただいた受講料の返金はできません。あらかじめご了承ください。



記

日 時	2023年1月28日（土）15時30分～18時00分
会 場	ハイブリッド開催（Webおよび東京都診療放射線技師会研修センターを利用）
場 所	〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505
ア クセス	JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分
受 講 料	会員 1,000円、非会員 5,000円
申込方法	東放技ホームページ (https://www.tart.jp/) の参加申し込みフォーム、上記アドレスまたはQRコードからお申し込みください。 <u>※後日、参加者には「イベントペイ」よりURL、パスワード、IDを返信致します。</u>
定 員	定員人数は特に設けておりません（会場参加は会員のみ先着30名）
カウント付与	日本診療放射線技師会学術研修2.5カウント付与
問い合わせ	学術委員長 市川篤志 E-Mail: gakujitu@tart.jp 公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX: 03-3806-7724

以上

会 告

4

第17回ペイシェントケア学術大会（ハイブリッド開催）

テーマ「接遇の達人をめざして」

第17回ペイシェントケア学術大会はハイブリッド開催と致します。

患者さまと医療従事者、両者の笑みがこぼれる医療現場づくりについて診療放射線技師一人一人が考えていかないといけない時代です。うわべだけではなくきちんと患者さまと向き合いどのように接していくべきか、接遇の達人を目指し一緒に考えましょう。

会場参加については事前登録とさせていただきます。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

参加申し込みおよび受講料お支払いにはWebシステム「イベントペイ」を使用しております。ご案内は電子メールで致します。「イベントペイ」からのメール送信となりますので、ドメイン指定等されている場合は受信できるように事前に設定をお願い致します。

フリーメールをご利用の場合、迷惑メールとして処理される可能性がありますので、迷惑メールフォルダや削除済フォルダ内をご確認ください。

申し込みは下記のアドレスまたはQRコードからお願い致します。

https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=3967236673917779&EventCode=P486812045

一度お申し込みいただいた受講料の返金はできません。あらかじめご了承ください。



～プログラム～

10:30 開会式

テーマ演題「患者様のために考える～タスクシフト・シェアの現状と展望～」4演題
教育講演「外国人患者への接遇力」 講師：順天堂大学 坂野 康昌 先生
基調講演「接遇についてあらためて考えてみる（仮）」 講師：伊藤 光代 先生
市民公開講座「X線検査時の意思疎通の難しさ～多様性の時代だからこそ支援について考える～」
講師：株式会社アイエスゲート 宮田 充 先生

16:00 閉会式

記

日 時：2023年2月4日（土）10時00分～16時00分（受付開始：10時00分～）

場 所：一橋大学 一橋講堂（ハイブリッド開催）

東京都千代田区一ツ橋2-1-2

受講料：診療放射線技師 1,000円、他職種および一般参加・新卒かつ新入会員 無料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、上記アドレスまたはQRコードからお申し込みください。

※後日、参加者には「イベントペイ」よりURL、パスワード、IDを返信致します。

定員：特に定員人数は設けておりませんが事前登録をお願い致します

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修4.5カウント付与

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail : gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

2022年度 第1回災害対策研修会 <Web開催> テーマ「災害時の放射線部門対応 ～経験から備えへ～」

主催：公益社団法人東京都診療放射線技師会 SR推進委員会

東日本大震災から11年が経ちました。発災後に多くの施設で災害対策の見直しや整備を行ったことと思います。その後も継続して訓練や見直しを行っていますでしょうか。災害時医療を他人事と考えていませんか？

今回の研修会では、「BCP」「訓練」「実際の被災地域での対応」などについて災害医療分野の第一線で活躍されている先生方にお集まりいただきご講演いただけることになりました。災害対策にご興味のある方は必見です。また、災害支援認定診療放射線技師の現状についてもご紹介致します。

皆さまの施設の災害対策に対する日頃の備えを見直すきっかけになれば幸いです。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2023年3月4日（土）13時00分～17時00分（オンラインによるライブ配信）

定 員：100名（先着順）

受 講 料：無 料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修4.0カウント付与

問い合わせ：SR推進委員会 渡辺靖志 E-Mail：saigai@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

会 告



2022年度 城南支部研修会 (Web開催)

テーマ「Ai (死亡時画像診断) の現状と今後の展望」

講師：国際医療福祉大学保健医療学部放射線・情報科学科 樋口 清孝 氏
Ai情報センター 代表理事 山本 正二 氏

“Ai”という言葉を聞くと最近は「人工知能：AI」を思い浮かべる方が多いのではないでしょうか。2011年にドラマでAutopsy Imagingが取り上げられた当初は、診療放射線技師の間で話題となり“Ai”と言えば「死亡時画像診断」でした。

あれから10年、私たちを取り巻く環境は刻々と変化し、「人工知能：AI」ではブレイクスルーが起こり、今や画像診断のみならずビジネスや生活のいたるところに導入され、社会システムの一部として機能し始めています。

また、「死亡時画像診断：Ai」でも多くの方々の努力により当時の問題点が改善され、“Ai”を取り巻く環境が大きく変化してきています。進化したAutopsy Imagingの現状と適正な撮影条件や症例の解説を経験豊富な講師をお招きし、技師目線と読影医目線からご講義いただきます。

今回は3年前に直前で開催中止となった研修会の温め企画となります。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2023年3月10日（金）19時00分～20時30分

受 講 料：無 料

定 員：100名（先着順）

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※参加者にはパスワードを返信致します。

問い合わせ：城南支部委員会 E-Mail：shibu_jyounan@tart.jp

第15地区委員長 原子 満（城南支部委員長）

第4地区委員長 上田万珠代

第8地区委員長 大津 元春

第11地区委員長 名古 安伸

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

2022年度 第3地区研修会（ハイブリッド開催） テーマ「学ぼう！脳梗塞～各モダリティのアプローチ～」

休日・夜間帯を含めて、顔面や四肢の麻痺、呂律が回らないなどの有症状があり、脳梗塞を疑って検査依頼を受けることがあります。われわれ診療放射線技師は、診断から治療、その後のフォローまで理解して対応することが必要です。第3地区研修会では、モダリティ別に撮影法や対応について解説します。「脳梗塞とはどんな病気だったか？」からCTやMRI、Angio、RIではどのようなポイントに気を付け、検査や治療を行っているのか、基礎から学ぶ良い機会になればと考えています。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

～ プログラム～

- | | | |
|---------------------------|----------------|---------|
| 1.『脳梗塞に関する基礎概論』 | 国立がん研究センター東病院 | 若松 和行 氏 |
| 2.『脳梗塞の診断・治療へ貢献するCT検査フロー』 | 東京女子医科大学病院 | 橋本 弘幸 氏 |
| 3.『脳梗塞MRIの理解とポイント』 | 慶應義塾大学病院 | 上田 亮 氏 |
| 4.『脳梗塞に対する血管内治療』 | 東京医科大学病院 | 松本 亘 氏 |
| 5.『脳梗塞から学ぶ核医学』 | 国立国際医療研究センター病院 | 齋藤 郁里 氏 |

記

- 日 時：2023年2月3日（金）19時00分～20時30分
会 場：ハイブリッド開催（Webおよび東京都診療放射線技師会研修センターを利用）
場 所：〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505
ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分
受 講 料：無 料
定 員：100名（うち、研修センター参加は先着30名）
申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。
参加人数に上限がありますのでお早めにお申し込みください。
※Web参加者にはパスワードを返信致します。
申込締切日：2023年1月27日（金）（定員になり次第締め切り）
問い合わせ：第3地区委員長 布川嘉信 E-Mail：area03@tart.jp
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

お知らせ

2

2022年度 第4地区研修会（ハイブリッド開催）

テーマ「一般撮影装置の精度管理を学ぼう」

講 師：国際医療福祉大学 成田保健医療学部 放射線・情報科学科 市川 重司 教授

一般撮影装置を扱う皆さんに向けて「一般撮影装置の精度管理を学ぼう」を開催する運びとなりました。「精度管理が大切なのは分かっているのに、どこまで管理すればいいのか分からぬ」など、以下のようなお悩みはありませんか？

- ・今やFPDやIPが主流、ホントのところなんとなく管理していた
- ・装置や検出器の精度管理って？
- ・故障・劣化の予見、その対処は？

今回の研修では、これらの疑問やお悩みを解決するために、臨床経験、研究経験の豊富な国際医療福祉大学の市川重司先生を講師にお迎えし、研修会を開催します。皆さまのご参加を心よりお待ちしています。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2023年2月8日（水）19時00分～20時15分（受付開始：18時30分）

会 場：ハイブリッド開催（Webおよび東京都診療放射線技師会研修センターを利用）
(新型コロナウイルス感染症の感染状況により変更になる可能性があります)

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

定 員：会場 30名、Web 100名（会場希望者は先着順とさせていただきます）

受 講 料：無 料

申込方 法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2023年1月25日（水）

問い合わせ：第4地区委員長 上田万珠代 E-Mail：area04@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

2022年度 第16地区研修会（ハイブリッド開催）

テーマ「MRIのクエンチと磁性体吸着についての検討 ～インシデント・アクシデント事例報告～」

講 師：GEヘルスケア・ジャパン株式会社 MR部モダリティスペシャリスト 吉野 要 氏
第16地区委員 川島 修一 氏、関谷 薫 氏

第16地区研修会はハイブリッド開催（会場およびWeb開催）です。

今回は、第1部として、MRIのクエンチ発生や磁性体吸着後、復旧させるためにどのくらいの費用と時間がかかるのかメーカー側より説明致します。

第2部として、MRI撮影室内で起きた、インシデント・アクシデント事例報告に関して、なぜ発生してしまったのか、どのような背景があったのか、その後、どのような対策をとったのかを、皆さんと情報共有させていただき、ご施設でのMRI室の安全管理に少しでもお役に立てればと考えております。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2023年2月10日（金）19時00分～20時30分（受付開始：18時45分～）
会 場：ハイブリッド開催（Webおよび東京都診療放射線技師会研修センターを利用）
（IDおよびパスワードは追ってご連絡致します）
場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505
ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分
定 員：会場 20名・Web参加 50名（先着順。定員になり次第、終了させていただきます）
受 講 料：無 料
申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。
問い合わせ：第16地区委員長 関谷 薫 E-Mail：area16@tart.jp
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

お知らせ

4

2022年度 第9地区研修会 (Web開催)

テーマ「新人教育のあれこれ」 ～大事な初めの一歩 病院ごとの方針と成果～

講 師：東京都健康長寿医療センター	石田 獨 氏
日本大学医学部附属板橋病院	照屋 寛人 氏
帝京大学医学部附属病院	四釜 静帆 氏
精神医学研究所附属東京武蔵野病院	飯塚 雅子 氏

本年度の第9地区研修会は新人教育の目的と重要性について考えます。今回は4施設の先生方をお招きし、施設の方針や教育の心得・コツまたは失敗例など多角的な視点で講演していただきます。年度末総括の時期での開催、多くの皆さまと情報・意見交換し次年度へ生かしたいと思います。

なお、今回はZoomによるオンライン開催となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。安全が確保され安心してセミナーが開催できる環境が整った時点で順次通常のセミナーを再開してまいります。それまで今しばらくお待ち下さい。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2023年2月28日（火）19時00分～20時30分

受 講 料：無 料

定 員：60名 （定員になり次第、終了させていただきます）

申込方 法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※参加者にはパスワードを返信致します。

申込締切日：2023年2月25日（土）（定員になり次第締め切り）

問い合わせ：第9地区委員長 西郷洋子 E-Mail：area09@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

2022年度厚生調査委員会アンケート調査事業

「東京都診療放射線技師会会員における 診療放射線技師法改正に伴う告示研修の実態調査」 アンケート調査 ご協力のお願い

厚生調査委員会

厚生調査委員会では、昨年度に引き続き診療放射線技師法改正に関する会員の動向についてアンケート調査を実施します。

本年度は会員の告示研修の実態調査を行い、皆さんに現状を報告するとともに、今後業務を行う上で参考としていただきたく、下記の通りアンケート調査を実施致します。

後日会員宛てにシリアルナンバー付きのはがきを発送致しますので、主旨をご理解いただき本アンケート調査にご協力をお願い申し上げます。

記

1. この調査は東京都診療放射線技師会の2022年度事業計画に基づいて実施されます。
2. 調査名：東京都診療放射線技師会会員における診療放射線技師法改正に伴う告示研修の実態調査
3. 調査対象：東京都診療放射線技師会会員
4. 回答期限：2022年12月27日（火）
5. 調査方法：Webブラウザを利用した入力方式（PC、スマートフォンなど）
6. 調査情報の取扱い：

重複回答の管理を目的として付与された回答管理番号が記載された調査依頼施設管理表は、個人情報管理者が厳重に保管し、いかなる場合でも個人情報管理者以外は閲覧することができません。回答管理番号から施設を特定することはできません。この調査結果は学会誌や学会にて報告する場合があります。この回答は一定期間の保存の後に削除します。

* QRコードの有効期限は回答期限に準ずる

以上

お知らせ

6

JART終身会費免除申請 終了のお知らせ

日本診療放射線技師会（JART）では、2004年8月より終身会費免除制度が受付され、2005年より免除が開始されました。また、2017年6月3日改正の会費等納入規程において、第8条に規定する申請は、2022年度末までの5年間の猶予をもって終了することとされました。

繰り返しになりますが、2022年度末において終身免除の申請を終了と致します。

希望者は、日本診療放射線技師会のホームページ（JARTIS）において早めに申請手続きをお願い致します。

【会費等納入規程】

（会費の終身免除）

第8条 25年または30年勤続表彰受賞者で25年以上継続して会員であり、55歳以上の会員は、10万円を本会に納付し、その旨を申請することにより、翌年以降の会費は終身にわたって免除される。

附則 第8条に規定する申請は、令和4（2022）年度末までの5年間の猶予をもって終了する。

お問い合わせ：公益社団法人日本診療放射線技師会 財務担当

E-Mail : info@jart.or.jp

以上

あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する千葉方面・神奈川方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

本会ホームページ <https://www.tart.jp/> には各地区の表が掲載されています。

“当会の概要”から“支部・地区一覧表”をお選びください。

東京都診療放射線技師会では、東京を13の地区に分け、東京に隣接する神奈川・千葉・埼玉を加えた計16地区で構成し、技師会をより多くの診療放射線技師の皆さんに、また一般の方に「診療放射線技師」を知っていただこうと日々活動をしています。

各地区紹介ページ

城東支部	第1地区	千代田区	地区紹介
	第2地区	中央区、台東区	地区紹介
	第7地区	墨田区、江戸川区、江東区	地区紹介

地区紹介PDF

また、“地区紹介PDF”では各地区の特色や活動を写真入りで紹介しています。
こちらもぜひご覧ください。

情報委員会

第9回 注腸X線検査の精度管理 ～臨床画像評価を意識した撮影法の工夫～

みさと健和病院 安藤 健一

これまで消化管造影検査連載企画では、上部消化管X線検査について、X線TV装置の機器精度管理について、食道・胃・小腸・大腸の症例について連載してきました。

新シリーズとして『大腸・注腸X線検査』について連載させていただいております。

新シリーズでは、これまで大腸の解剖生理・注腸X線検査の前処置・撮影法について、取り上げてきました。引き続きどうぞよろしくお願ひ致します。

おいて、小腸にバリウムが流出すること自体が駄目なわけではありません。しかし、直腸・S状結腸を撮影する前の検査序盤に流出してしまうと、重なりが発生してしまい障害陰影となり、特にS状結腸の描出範囲に大きな影響を及ぼすことがあります。画像評価の描出範囲の評価達成基準である、『全ての部位において二重造影像で全域にわたり描出されている』が、未達成となってしまう場合があります。これらへの対応について、解説させていただきます。

図1～図4は検査序盤の直腸・S状結腸の撮影画像です。小腸へバリウムが流出しており、特に図4の腹臥位正面像に近い体位においては、流出した小腸のバリウムがS状結腸の大部分に重なり大きな障害陰影となっております。この状態で撮影しても、S状結腸の二重造影像での描出範囲が非常に狭くなり、病変の見逃しの可能性も大きくなります。このような場合の対処法・工夫として、バリウム流出で障害陰影となる小腸をどかしてあげることです。小腸は腸間膜を有し可動性に富みます。圧迫を有効に活用して呼吸（深呼吸）と合わせて徐々にどかしていきます。圧迫枕を活用した腹臥位圧迫が有効ですが、圧迫筒を活用した背臥位圧迫でも対応可能です。図5～図10に提示した通り、腹臥位・背臥位撮影ともに、バリウム流出した小腸の重なり・障害陰影がどかされ、S状結腸全域で二重造影像を得ることができます。図11は、同様の体位で撮影された腹臥位の圧迫前と圧迫後の画像です。圧迫の効果により小腸の重なりがなくなっているのがご理解できると思います。

おさらい

前々回・前回とお話しさせていただいた、注腸X線検査の標準化による画像評価は、大きさ約1cmの病変（大腸がん）を見逃さない検査を目指した標準化であると同時に過程の標準化でもあります。バリウムを自在に移動させる撮影技術・前処置評価・造影剤の濃度調整等の評価でもあります。画像評価を行い検査の質を明らかにして、それを次にフィードバックして精度向上につなげていただければと思います。今回は、画像評価の達成を意識した検査・撮影法の工夫についてお話しさせていただきます。

1 | 流出した小腸への対応

実際に注腸X線検査でよく遭遇する、小腸（回腸）に流出したバリウムとS状結腸との重なりについて考えてみたいと思います。注腸X線検査に



図1



図2



図3



図4

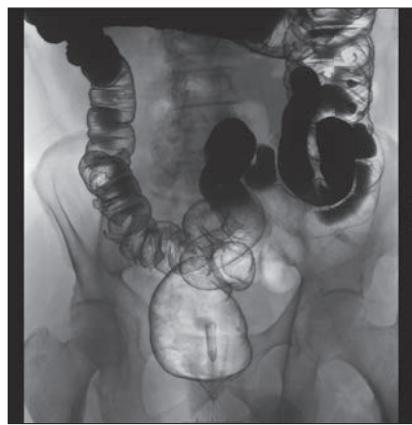


図5

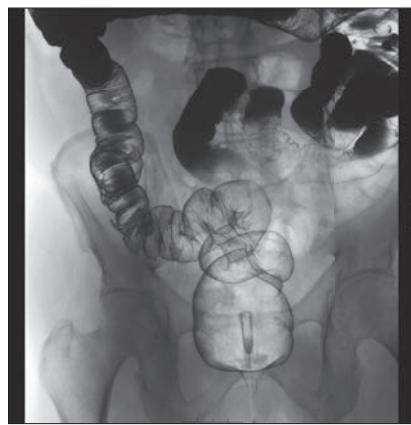


図6

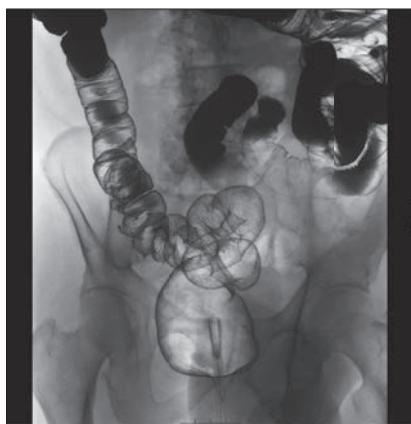


図7



図8



図9

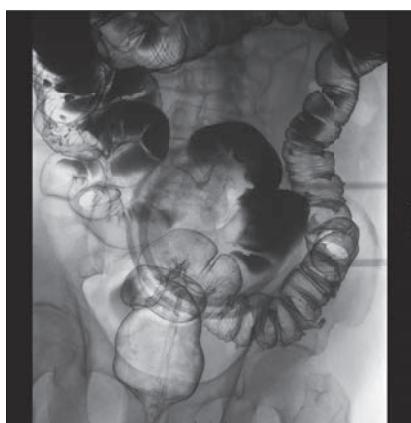
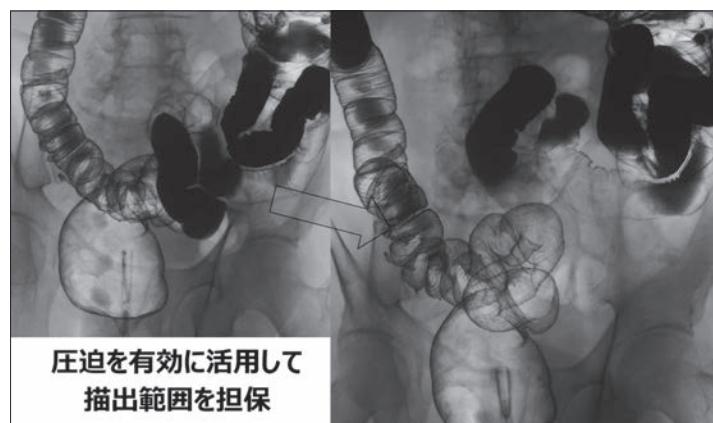


図10



圧迫を有効に活用して
描出範囲を担保

図11

2 | 下垂した横行結腸への対応

やせ型の体型にみられるパターンで、横行結腸の下垂により、S状結腸に重なってくる場合があります。特に腹臥位でのS状結腸撮影時に、横行結腸の残存バリウムが障害陰影となり、S状結腸の腹側の描出範囲に影響を及ぼすことがあります。これらの対応について、解説させていただきます。



図12

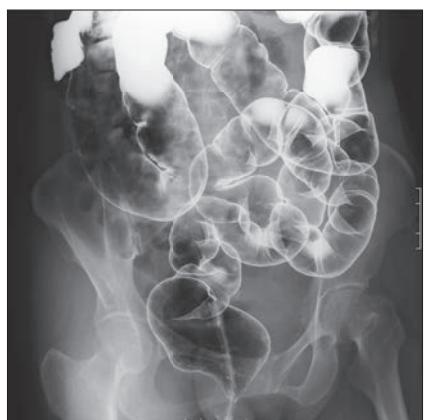


図13



図14



図15



図16



図17

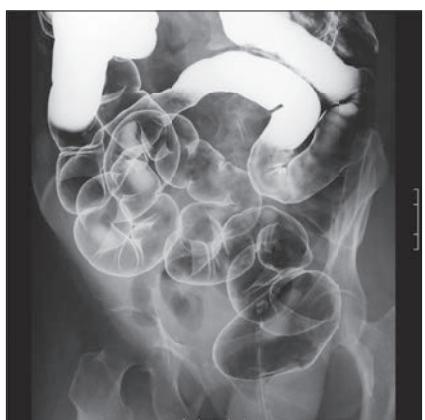


図18

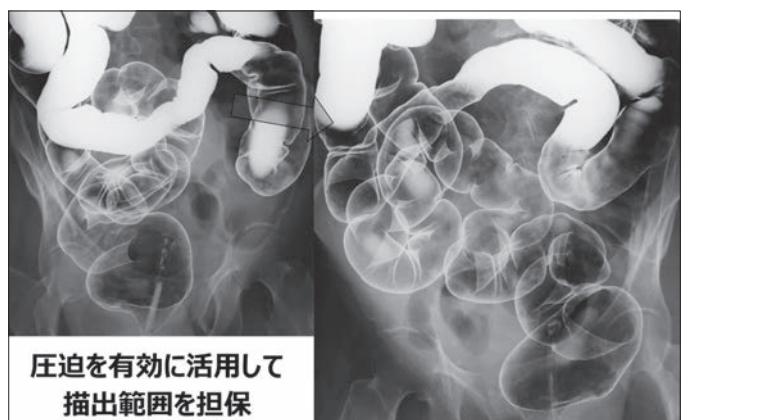


図19

図12～図15はS状結腸の撮影画像です。図12・図13は背臥位での撮影で横行結腸が重なっておりますが、やや頭低位での撮影とすることでバリウムの残存による影響を回避することができます。この時、状況に応じて圧迫筒を有効に活用して圧迫することで、完全に重なりをなくすこともできます。

図15は腹臥位での撮影で、横行結腸の残存バリウムの影響を大きく受けております。

このような場合の対処法・工夫として、バリウ

ムが残存する横行結腸をどかしてあげることです。横行結腸は腸間膜を有し可動性に富みます。圧迫を有効に活用して呼吸（深呼吸）と合わせて徐々にどかしていきます。圧迫枕を活用した腹臥位圧迫にて重なりを避け、描出範囲を担保します。図16～図18に示した通り、腹臥位撮影でも、横行結腸の重なり・残存バリウムによる障害陰影がどかされ、S状結腸全域で二重造影像を得ることができます。図19は、腹臥位の圧迫前と圧迫後の画像です。圧迫の効果により横行結腸の重なりがない状態で広く二重造影像が得られているのがご理解できると思います。

3 | 水分残渣への対応

大腸内視鏡検査後の当日の注腸X線検査、いわゆるCF (CS) 後注腸における水分残渣への対応

です。図20は、注腸X線検査直前の腹部立位単純X線画像です。内視鏡検査後なので、大腸ガスを多量に認め、鏡面像を形成し、中等量の水分残渣の残存が推定されます。これらに対して、通常通りの対応では、粘膜へのバリウム付着の低下が懸念されます。特に深部結腸においては、著しいバリウム付着の低下が予想され、付着評価の評価基準が達成できないことが容易に想定されます。この状況に対して、造影剤の濃度調整・高濃度（浸透圧の高い製剤の活用）で検査を試みてみました。図21～図24に提示した通り、下行結腸・横行結腸・上行結腸・盲腸まで、深部結腸含め非常に良好なバリウム付着となっております。腹部単純画像等で事前に前処置の状態を把握して、臨機応変に対応することが重要となります。また検査前に再度、排ガス排便を促すことも非常に基本的な事ですが重要であると考えます。



図20



図21

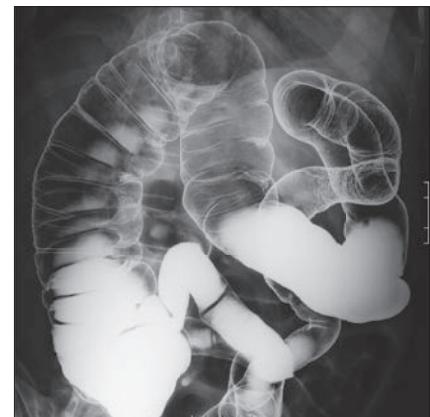


図22

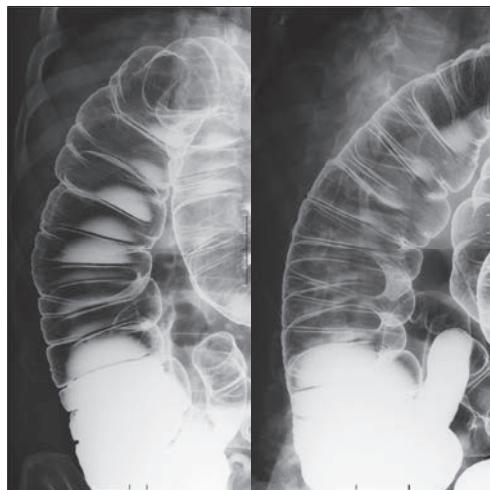


図23

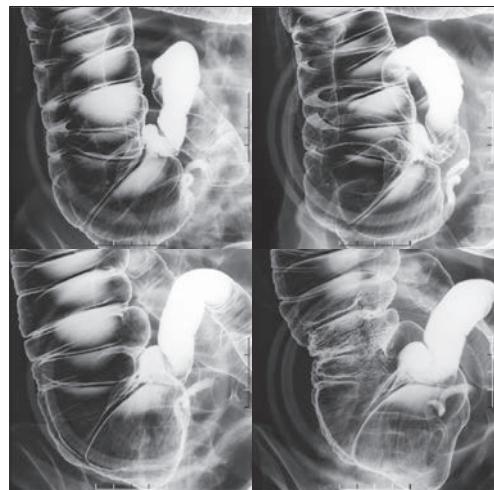


図24

4 | 付着不良時の対応

図25は、注腸X線検査開始時の腹部立位単純画像です。右側の深部結腸に複数の鏡面像を認め、水分残渣の存在が示唆されます。造影剤濃度を上げて対応しましたが、右側の深部結腸で付着不良の傾向を認めました。検査開始後、付着不良時の対応について考えてみたいと思います。図26～図37に画像を提示します。S状結腸・下行結腸・

左側の横行結腸までは、付着評価がおおむね良好（評価4～3）ですが、右側の深部結腸では付着の低下を認めます。この状況での対応策としては、1) 多量の造影剤での体位変換にて付着効果を高める、2) 可能な範囲で時間をかけて検査を行い、時間をおいて検査後半に撮影（粘膜からの水分吸収効果）、3) 圧迫・漂流法等を駆使して丁寧な透視観察・撮影を心がける、4) densityを調整する（下げる）等が考えられます。

図31～図33は、腹臥位の圧迫漂流撮影です。



図25



図26

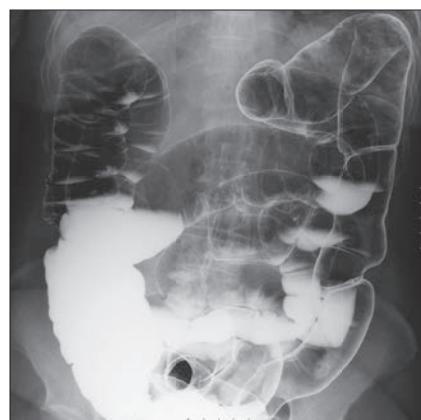


図27



図28

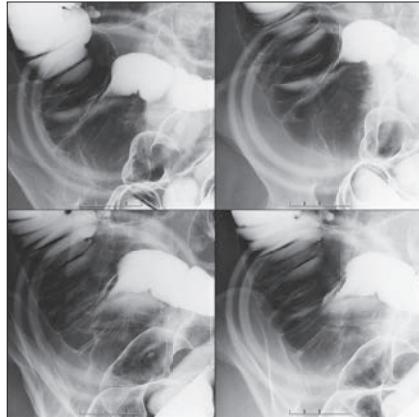


図29

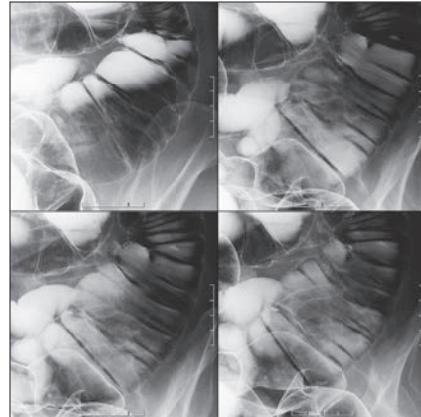


図30

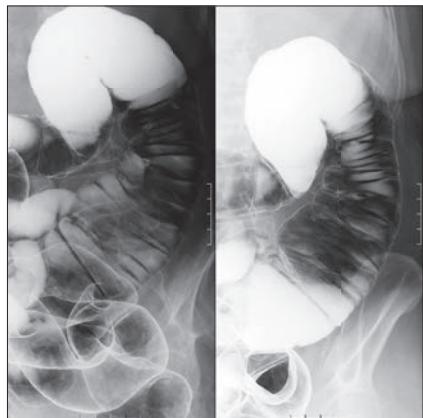


図31

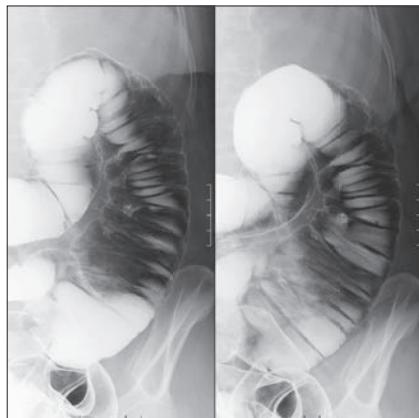


図32

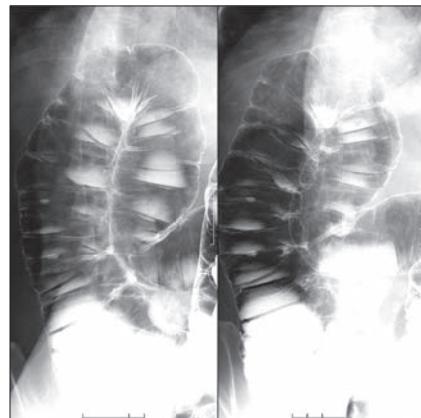


図33

圧迫枕を使用して適度に圧迫して腸管を平坦化させ、淡くバリウムを漂わせ、ヒダの異常やはじき像の有無を観察します。ポイントは、バリウムを均一の厚さで広く淡く漂わせることです。こうすることで、粘膜面の凹凸を表現することができ、付着不良傾向を補うことができます。

図36は、時間差をといての撮影で右側が検査前半、左側が検査後半に撮影された画像の比較です。この場合の（時間をかけて）時間差をといての撮影意義は、標的部位に複数回にわたり体位変換にてバリウムを流して付着の向上を目指すのはもちろんのことですが、時間をかけることにより、大腸粘膜から、徐々に大腸の本来の働きである水分吸収が始まり、水分残渣（残液）で薄まつた造影剤の濃度が改善し結果的に粘膜へのバリウム付着の向上が期待されます。注意点として、ただ機械的に検査時間を長くするのではなく、受検者の状態に応じて臨機応変に適切な状況判断のもとで対応することが求められます。

図37は、図36の拡大で、右側が検査前半、左側が検査後半に撮影された画像の比較で、上行結

腸のハウストラ・粘膜ヒダが、左側の検査後半に撮影された画像の方が詳細に観察することができます。付着評価も達成基準の評価3は担保されていると判断します。

画像評価を念頭に検査を行うことで、検査時にフィードバック可能であれば臨機応変に対応する。こうしたことでの画像精度・検査精度の維持向上につながると考えます。

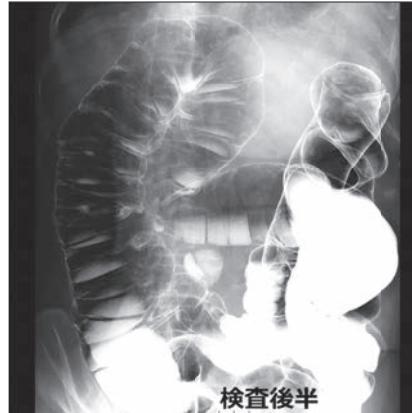
5 | 横行結腸腹側の残存バリウムへの対応

図38～図53は、大腸内視鏡検査後の当日に行われた注腸X線検査の撮影画像です。

画像評価は直腸～盲腸にかけて、バリウム付着が良好で付着評価は全ての部位で評価5、前処置も良好で残渣評価は、全ての部位で評価5・総量便残渣評価5、二重造影像での描出範囲は全ての部位で背側・腹側とも評価5となり、画像評価基準を達成した画像精度が非常に良好な検査となります。またS状結腸の二重造影像にて病変を認め



図34



検査後半



検査前半



図35



検査後半



図37

ましたが、図54～図56に病変部にバリウムを漂流させた画像を提示します。病変部の口側・肛門側の性状と病変の全体像・局在を明瞭に描出しております。

今回注目していただきたいのは病変部ではなく、横行結腸腹側の残存バリウムへの対応です。

図47～図50の横行結腸腹臥位撮影の画像を再度ご確認ください。丸点線で囲まれた位置に濃いバリウムの残存を認めます。図57にそれらの画像をトリミングしてまとめて提示しましたが、少

しづつ体位角度を変えて撮影しましたが同じような位置にバリウムの残存を認めます。横行結腸腹臥位撮影では良くあるパターンです。この位置に、ヒダに埋もれるような病変やLST、0-IIcのような病変が存在した場合、見逃される可能性が大きくなります。可能であればこうした横行結腸腹臥位・腹側のバリウムの残存にもしっかりと対応する必要があります。図58は、圧迫枕を使用した、腹臥位第1斜位で撮影された画像です。丸点線で囲まれた範囲を中心に広く平坦化され、バリウム

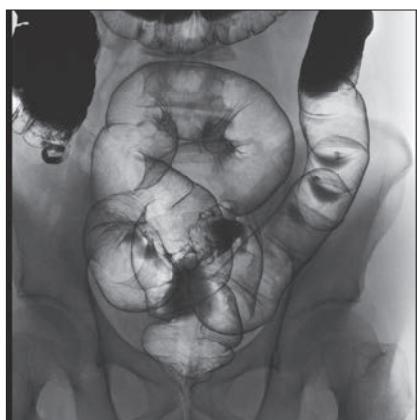


図38



図39

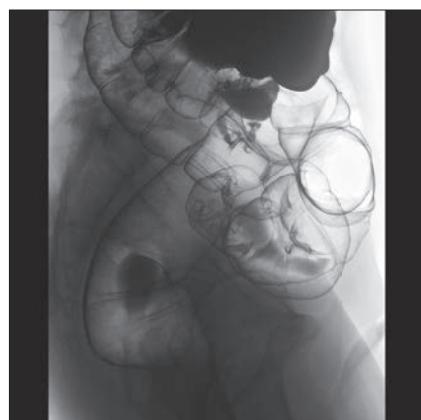


図40

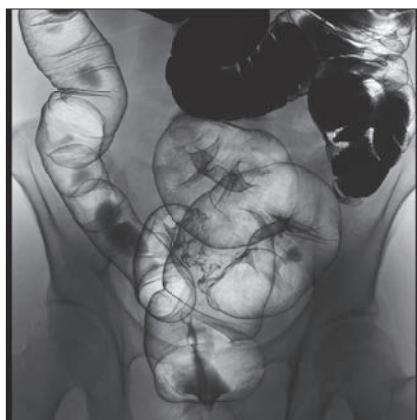


図41

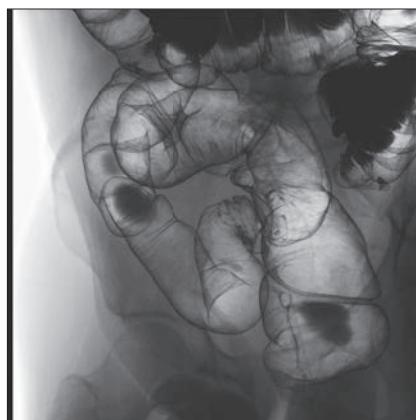


図42



図43

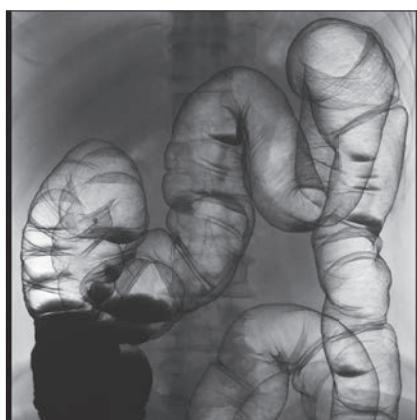


図44

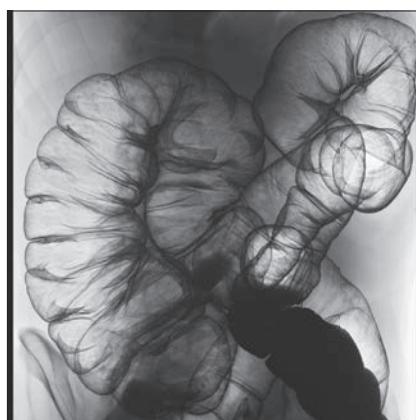


図45

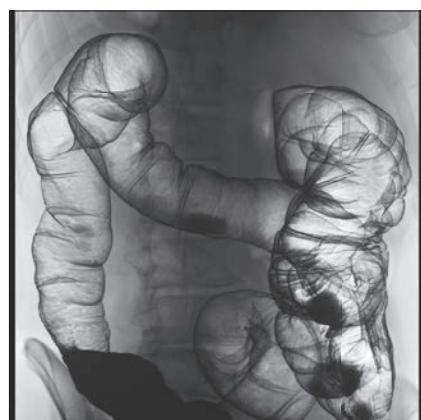


図46



図47

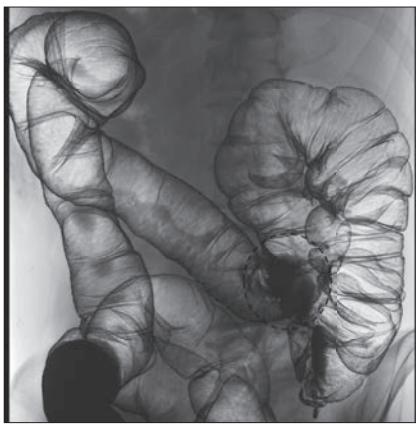


図48



図49



図50

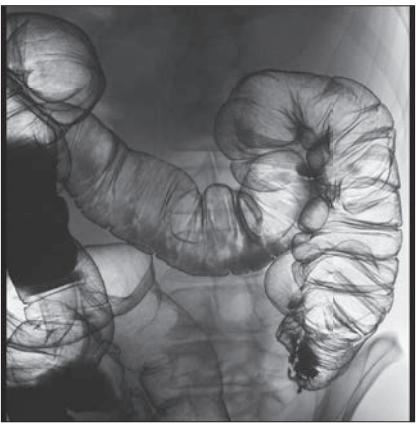


図51

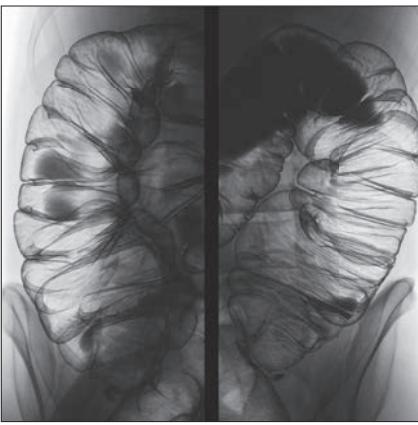


図52

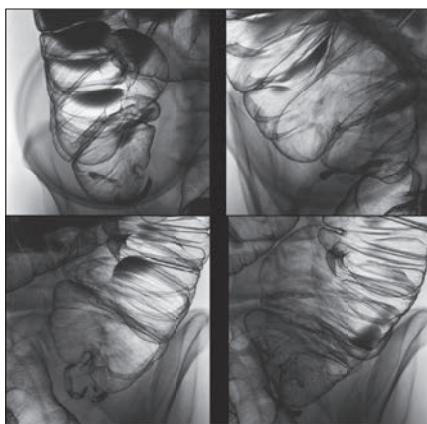


図53

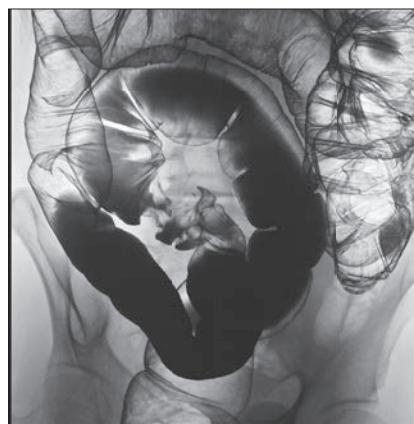


図54

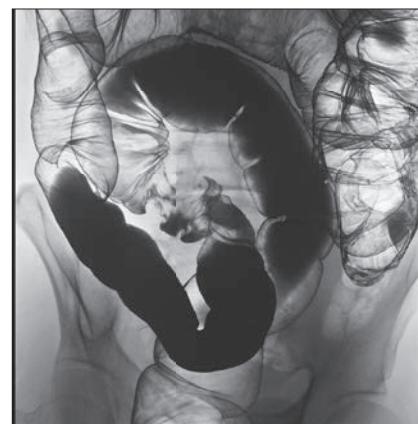


図55

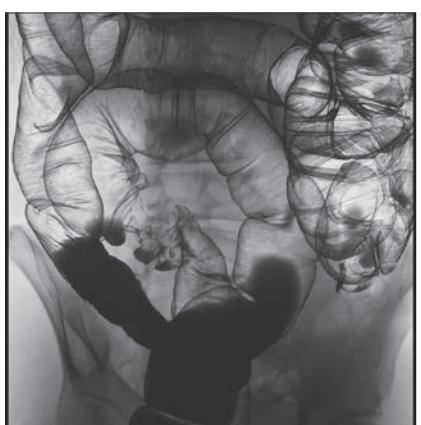


図56

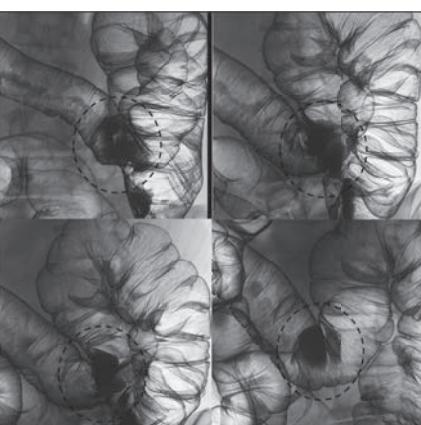


図57



図58

の残存がなくハウストラ・粘膜ヒダを明瞭に描出できております。こうした対応により、先に述べた通り、横行結腸の腹側を含め、二重造影像での描出範囲は全ての部位で背側・腹側とも評価5となり、画像評価基準を達成した画像精度が非常に良好な検査となります。

6 | おわりに

今回は、臨床画像評価の基準達成を意識した撮影法の工夫について、お話しさせていただきました。二重造影像での描出範囲、バリウム付着については、我々検査をする側の検査技術に大きく関わってきます。画像評価を意識した検査、検査後の振り返りやフィードバックをしっかりと行い、常に検査精度の向上を目指す必要があると考えます。

参考文献

- 注腸X線検査の標準化 日本診療放射線技師会監修 医療科学社
- 第2回下部消化管(注腸)認定診療放射線技師講習会 テキスト 日本診療放射線技師会

城東支部研修会に参加して

国際医療福祉大学 長谷川浩章

2022年9月30日にオンライン開催された2022年度城東支部研修会に参加させていただきました。50名の定員が充足するほどの事前申し込みがあったことを伺い、診療放射線技師職の転職活動には高い関心があることを認識しました。転職活動というと、履歴書・職務経歴書、面接日程の調整、年収交渉のような、神経を費やす作業が求められるため、私としては避けて通りたいという印象を持ってしまいます。また、転職活動が多いと、そのことが必ずしも良い印象を与えるとは限らず、機微な情報も含まれるため、同僚との会話の中でも話題に上がることは少ないのでないかと思います。いずれにしても、診療放射線技師職においては一般的ではなく、限定的な活動として転職像を抱いていました。そのような認識を持っていましたが、今回の研修会を受講して、転職活動に必要な「転職軸」という考えが転職の要・不要に限らず自己啓発に繋がり、診療放射線技師としてのキャリア形成に幅広く役立てることができるものと意識することができました。

転職活動にはさまざまな動機があると思います。転職活動では、動機の源泉を再確認し、自分の職歴

を前向きに考え、職歴を客観的に振り返りながら目標を見定めることであり、自分の知識・経験を新しい職場に生かしていくための、あるいは（少し大袈裟ですが）成長のための一つの通過点として捉えることができると感じました。紙面の都合もあるので、それがどのようなものか具体的に書ききれないのは残念ですが、転職軸が全世代に対して働くことに対してより価値を高めるための意識付けを与え、引き続くキャリア形成の基盤を固めるために重要であるということを理解することができました。

昨今、働き方の多様性が報じられていますが、医療職はテレワークが可能な職種に比べると働き方の選択肢は少ないと思います。しかし、自分のライフコースの中で働くことをどのように位置付けるか、主体的・積極的に選択することが許容されるような風潮も感じます。時代とともに働くことに対する価値観は変わると想いますので、今後もぜひ、診療放射線技師の働き方に結び付くような内容を取り上げていただけると幸いです。研修会開催に携わった東京都診療放射線技師会の皆さま、城東支部委員会ご所属の地区委員・委員長にお礼申し上げます。



城東支部研修会に参加して

板橋病院 河手 健

今回の研修会のテーマは「診療放射線技師の転職活動について」、講師は人材バンクを運営する（株）エス・エム・エスの担当者の藤野氏でした。また、Web開催でしたが私は開催担当の地区委員として事務所の会場にて参加しました。

内容は、会社概要－転職市場－スキル－求人方法－書類作成－面接対策－質疑など、転職を希望する技師、また求人側としてもとても参考になる講演でした。特に感じたことは、転職はリスクを伴うので、まず転職理由（職場環境・人間関係・待遇・スキルアップ・etc）を明確にすること、世代別のモチベーションが大事かなと思いました。実は、私も人材バンクに数社登録しています。各社それですが、HP・サイトからメール・LINEでの情報が毎日のように来ます。予想以上に求人施設が多いことに驚かされました（登録している方はご存知でしょう！？）。

求人施設は、病院・医院・健診施設などがありますが、即戦力、MRI、MMG経験者が優位かなと思います（特にMMGは女性技師！？）。最近では歯科クリニック（CT・デジタルパノラマなど）もあります。雇用形態は、常勤・非常勤と選択肢があり、時給、日給、月給または年俸制となっています。私は、年齢不問、モダリティ、待遇面を考慮しましたが、まず年齢的（定年制）に不採用となるケースがいくつかありました。

定年・閉院が主な転職理由でしたが、就職サイト情報は非常に参考になりました。転職を考えている若い方・ベテラン技師の方は、自分たちの将来性・方向性・スキルアップ等を慎重に考慮して、就職サイトを有効に利用することをお勧めします。

最後に城東支部の役員の皆さまお疲れさまでした。ありがとうございました。



日本診療放射線技師連盟 2022 No. 10 ニュース (通巻No.79)

連盟活動報告

発行日 令和4年10月30日
発行所 日本診療放射線技師連盟
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL.070-3102-1127 FAX.03-6740-1913

- ① 10月3日(月) 2022年度第3回理事会開催
- ② 10月27日(木) 第9回 石田まさひろ政策研究会に出席
- ③ 10月27日(木) 2022年度連盟支部長会議開催
- ④ 10月30日(日) 自民党広島県連主催「政策・要望を聞く会」に出席
- ⑤ 10月30日(日) 自民党広島県連主催「政経文化セミナー」に出席



事務局からのお願い

畠元将吾代議士後援の自民入党は右のQRコードから登録できます。

本連盟の年度は1月から12月となっております。

2021年第2回理事会において、年会費は一律 2,000円となりました。

また、寄付によるご支援も隨時受け付けております。

郵便局 備え付けの振込取扱票を使用してお振込みの場合

→ 口座記号・口座番号 00100-2-667669

ゆうちょ銀行に直接お振込みの場合

→ 店名(店番):019 当座預金 口座番号:0667669 加入者名 日本診療放射線技師連盟



会員動向

2022年4月～10月期

年 月	月末会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
2021年度末集計	2,321	183	26	26	101
2022年 4月	2,354	32	8	4	3
2022年 5月	2,398	43	3	1	1
2022年 6月	2,431	39	1	4	3
2022年 7月	2,442	14	2	2	3
2022年 8月	2,463	21	1	1	0
2022年 9月	2,472	13	3	2	5
2022年10月	2,481	13	2	3	3

東 放 見 聞 錄

スマートウォッチ

あまり興味はなかったが「スマホを出さずともいろいろできる」という話もあり、たまたま行った巨大倉庫型スーパーで割引していたので購入してしまった。自分のスマホは顔認証のため、マスクをしているとロックが解除されないが、身に着けている時は解除してくれる。キャッシュレス決済などもすぐできるというのがよい。

一番使用している機能は「フィットネス」という運動アプリ。始めに「ムーブ」「エクササイズ」「スタンド」を設定する。よく分からないので初期設定のまま使用してみる。私は職場へ約7kmを自転車で通勤しているのだがサイクリング中と感知して時間やカロリー、心拍数を測定してくれる。分かったことは往復約1時間の自転車通勤よりも20分ランニングしたほうが消費カロリーが多いということ。この文章も試行錯誤しながら書いていると「そろそろ動きましょう」などと通知がきたり、夜は「まだ時間はありますよ」と。余計なお世話だなあ、と思いながら今週どれくらい動いたかを確認してしまう自分がいる。

「この時計に支配されている…」と思いながら生活をしているが、この間、雨の日に自転車で転倒した際に「助けを呼びますか？」と通知がされていた。一応心配してくれるし、コイツともうちょっと付き合ってみようと思ったりする。

Island.ss

News

12月号

日 時：2022年10月4日（火）
午後7時00分～8時20分
場 所：インターネット回線上
出席理事：麻生智彦、関 真一、野口幸作、鈴木雄一、
江田哲男、宇津野俊充、浅沼雅康、高野修彰、
竹安直行、市川篤志、小林隆幸、渡辺靖志、
長谷川雅一、原子 満、鮎川幸司、関谷 薫、
増田祥代、布川嘉信
出席監事：野田扇三郎、白木 尚
指名出席者：島田 諭（第2地区委員長）、上田万珠代（第
4地区委員長）、伊佐理嘉（第6地区委員長）、
富丸佳一（第7地区委員長）、西郷洋子（第9
地区委員長）、澤田恒久（第10地区委員長）、
吉村 良（第12地区委員長）、宮谷勝巳（第
14地区委員長）、村山嘉隆（総務委員）、新川
翔太（総務委員）
欠席理事：なし
欠席監事：なし
議 長：麻生智彦（会長）
司 会：関 真一（副会長）
議事録作成：村山嘉隆、新川翔太

会長挨拶

お疲れのところ会務へのご協力に感謝申し上げる。東京都診療放射線技師会の新たな船出として、地区および執行部がさまざまな課題に取り組んでいる。本日も新たな体制に向けいくつかの議事があるため、皆さまの忌憚のない意見をいただきたい。

理事会定数確認

出席：18名、欠席：0名

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

報告事項

1) 麻生 会長

・活動報告書に追加なし。昨日、東京都医療従事者推進ネットワークに参加した。詳細は来月の理事会で報告する。

2) 副会長

関 副会長

・活動報告書に追加なし。荒川消防署へ消防計画変更届と消防訓練通知書を提出した。

野口 副会長

・活動報告書に追加なし。

3) 業務執行理事

総務：鈴木理事

・活動報告書に追加なし。

庶務：宇津野理事

・活動報告書に追加なし。

4) 専門部委員会報告

編集：浅沼理事

・9月30日に城東支部研修会に参加した。

5) 各委員会報告

・活動報告書に追加なし。

6) 地区委員会報告

・活動報告書に追加なし。

7) その他報告

野口幸作 副会長：

9月8日に事務局の引地氏より事務所のパソコンが起動しないとの連絡があり、復旧に向けた対応を行った。試行錯誤したが復旧できなかったため、業者に修理を依頼した。ハードディスクの基盤の故障であり、ハードディスクからデータの吸い上げも困難で、基盤を修理しながらデータの回収となった。会長および五役会で検討し、会員データベースや個人情報保護規程に付随する会員のメールアドレスの抽出作業を行っていたため、如何にしてもデータを復旧させたかった。デジタルデータリカバリーという会社にデータの抽出作業を依頼したところ、金額は495,000円であった。データは全て復旧することができた。パソコンは故障したため、新しいものを購入する予定である。データのバックアップは通常行っているのだが、何らかの原因で今回は停止していた。今後はHDDとSSDの2種類でバックアップを行う予定である。

鈴木雄一 総務委員長：

南関東FRT第7回研修会のアンケート結果について、周知する範囲は各地区委員長までという了承を得たため、資料として配布した。ご確認をお願いしたい。

高野修彰 渉外委員長：

昨日東京都庁で東京都功労者表彰の授賞式が行われ、江田理事が受賞されたことを報告する。

議 事

1) 事業申請について

①第16地区研修会

テーマ：MRIのクエンチと磁性体吸着についての検討
－インシデント・アクシデント事例報告－

日 時：2023年2月10日(金) 19:00～20:30

場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター
(ハイブリッド開催)

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

②第22回合同学術講演会 Web開催

テーマ：防護と遮蔽をアップデート！

日 時：2022年11月5日(土) 15:00～17:00

場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

③OTAふれあいフェスタ2022

テーマ：都民への放射線医療や放射線に関する正しい知識の普及・啓発活動。

骨密度検査体験・乳腺ファントム触診体験・
放射線検査説明・医療被ばく相談・パネル展示

日 時：2022年11月5日(土) 10:00～16:00

2022年11月6日(日) 10:00～16:00

場 所：平和島公園・ボートレース平和島

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

④第142回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ：ちょっと教えて！ がんゲノム医療について

日 時：2022年12月12日(月) 19:00～19:40

場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

⑤第143回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ：学術・教育委員が選んだ発表演題－入会促進－

日 時：2023年1月11日(水) 18:30～20:10

場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

⑥第20回ウインターセミナー

テーマ：オンコロジー－がん治療について考える－

日 時：2023年1月28日(土) 15:30～18:30

場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

⑦第17回ペイシェントケア学術大会

テーマ：接遇の達人を目指して！

日 時：2023年2月4日(土) 10:00～16:00

場 所：一橋大学 一橋講堂

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

⑧2022年度第1回災害対策研修会

テーマ：災害時の放射線部門対応－経験から備えへ－

日 時：2023年3月4日(土) 13:00～17:00

場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター
(Web配信)

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

2) 適正な会費額の検討について

麻生智彦 会長：

会務運用を見直しながら事業を推進させることで会費を減額する。まず組織率を50%まで上げることを推進する。現在2,463名の会員数を2年間で3,000名まで目標とする。現在の会費11,000円を提案10,000円とし、減額分2,463人×1,000円=246.3万円を理事会、五役会・専門部委員会、地区委員会を今後も交通費の支出が少ないWeb、リモート会議を推奨し削減する。二年間見直しを図りながらさらなる会費減額を検討する。

関 真一 副会長：

新入会費について現在5,000円を0円にすることを提案する。会員増加を見込むが、滞納退会も増加する恐れがある。現在はJARTによる債権回収制度があるので会費は回収できると思われる。また、現在60歳～69歳を7,000円、70歳以上を3,000円としているが、提案として60歳～64歳を7,000円、65歳～69歳を3,000円、70歳以上を0円としたい。対象人数が多くないので影響は少ないとと思われる。定年または退職し退会する方が多くなっているが、少しでも会のために残っていただきたいと思う。

今回は、会費についての重要な議題なので採決しない。地区委員、代議員で検討し、今月の専門部前までに意見をまとめ、11月の理事会で採決し、最終的に2月までに臨時総会を開催して決定させていただく。意見が多数あれば12月の理事会に延期することも検討する。

鈴木雄一 総務委員長：

補足として、会費を変更する場合は代議員による臨時総会開催と、次年度から適応する場合は2月までに開催する必要があり、遅くとも12月の理事会で議案として提出する必要がある。

野口幸作 副会長：

麻生会長から組織率50%、3,000人という大きな目標を上げていただきたい。理事の皆さま、委員長の皆さまと一緒に増員、魅力あるコンテンツ作りに知恵を出し合う必要があるので今回の提案の中に入れ、ご意見ご協力をお願いしたい。

上記について継続審議する。

3) 線量計校正について

関 真一 副会長：

本会では、GMサーベイメーターとポケット線量計を二台ずつ所有している。東日本大震災の放射線事故における被災地および避難所におけるサーベイ活動をしてきた経緯がある。その活動経験を語り継ぎ風化させないために災害対策研修会を毎年開催している。また近年では緊急被ばく医療や原子力災害時に対する対応を十分に考える必要がある。2015年に購入しており、放射能被ばく者に対していつでも使用できるようSR推進委員会より校正の要望があったので議案とする。

上記について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

4) 定款諸規程等検討委員会について

野口幸作 副会長：

先月に再始動の話をを行い、現委員と支部委員会からと専門部から委員選出をお願いし、新メンバーで再始動を行っていく。会費について定款諸規程を検討委員会で検討していくのでご理解ご協力をお願いしたい。

上記について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

5) 副会長担当制について

野口幸作 副会長：

副会長が専門部であり地区の後衛担当をして、会長が情報全部を把握する状況を作り、両副会長が相談に乗りアドバイスする立ち位置になり一緒に活動していくと提案をしたのでご審議いただきたい。

上記について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

6) 放射線相談委員会について

麻生智彦 会長：

今まで日本医科大学多摩永山病院の笹沼委員に被ばく相談的回答をしていただき、委員会組織として意見回答できていないということだったので、まずは放射線相談委員会を特別委員会として設置し笹沼委員を委員長とする。また、法の一部改正があり、医療放射線適正管理について会員、病院施設から相談などが

あると思うので来年4月に増員を図りながら放射線相談委員会を拡充する計画である。今回は特別委員会としての放射線相談委員会と笹沼委員長についての承認をいただきたい。

上記について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

7) 告示研修ファシリテーター推薦について

野口幸作 JART教育委員：

JARTからファシリテーターの追加の要請があったので、推薦者を募り9名の方をJARTに報告している。皆さまの情報共有も踏まえて元ファシリテーターも今後一緒に活動できるように進めたいのでよろしくお願いしたい。

麻生智彦 会長：

告示研修の準備・片付けなどの手伝いを本会から補助委員として参加していきたいのでご支援ご協力をお願いしたい。

上記について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

8) 委員新任変更申請について

鈴木雄一 総務委員長：

各地区は、会員数10名あたり1人の地区委員という決まりがあり、今回はその範囲内の増員であることを確認できたので、申請された皆さまをご承認いただきたい。次回は4月の予定であるので、それまでに地区会員の増加にご協力いただきたい。

上記について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

9) 個人情報保護規程について

野口幸作 副会長：

個人情報保護規程という形で、先々月に資料として提出させていただいた。

個人情報を保護することはとても重要なことであり、しっかりとした取り決め、規程に準拠した形で運営をしないといけないため、6項目をあげた。世の中に取り決めとして出ている部分を本会に合わせ込んだ部分がほとんどである。不用意に個人情報の出力、持出し等は行わない。これまで、5月、10月を区切りにして地区会員のデータを地区委員長に渡していたが、第3者にはならないが、組織内でのデータ移行に関しても、万が一個人情報が漏れたときに、その根拠やデータ量は調べなければならない。地区会員に受け渡しを行う際は、地区委員長の依頼制、地区から庶務に依頼をかけて、どのデータがやり取りされたか、庶務でも記録に残さなければならない。もし記録が残って

いない場合、バックアップがないと分からなくなってしまうため、データのバックアップは重要である。メールでの送受信は、なりすましや誤送信防止のために行わないのが世の中のルールであり、これを踏襲させていただく。個人情報の入ったUSB等の保管管理という形で、暗号化処理を行い、エクセルファイルなどもパスワードを使用する。USBの場合は紛失の可能性があるので、安易に保持しないことが必要になる。データをPCで開いたまま不用意に他人に見られないような状況にしなければならない。自分のPCに適切なセキュリティソフトを導入・更新してセキュリティを守ることが重要である。世の中によくある無料Wi-Fiは、データの抜き取りに使われる可能性があるため、無料Wi-Fiは使用しない。ID・パスワードの情報を適切に管理する。アプリケーションソフトの定期的なアップデートをすることが必要になる。個人情報を漏洩または紛失したときには、速やかに個人情報保護委員会に事実関係と再発防止等について報告をしなければならない。報告は会長が行う。上記のことを取り決めとして決めなければいけないと考えている。

上記について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

10) 新入退会について

9月：新入会13名、転入3名、転出2名、退会5名

上記について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

地区質問、意見

特になし。

連絡事項

浅沼雅康 編集委員長：

編集委員会で皆さまにお願いしていた委員長の紹介記事は、先週の専門部委員会開催日で締切らせていただいた。ご協力感謝する。メールの受諾ミスかもしれないが、地区委員会と専門部委員会で届いていない原稿がある。届いたものだけ11月号に掲載し、届いていないものを12月号に分散して掲載させてしまうと、格好が良くないため、原稿が届いていない方へ問い合わせをさせていただく。地区が全て揃えば地区だけ掲

載し、専門部が全て揃えば専門部だけ掲載するような形も考えているが、両方とも揃えきれない場合は、11月号を延期して12月での掲載を考えている。

野口幸作 副会長：

先月、鮎川理事から管理士の更新について質問があったと思うが、問い合わせをした。基本的に委員会や分科会が判断すること。現状では、東京都診療放射線技師会のパンフレットなどの参加が証明できるものがあれば、参加したということを東京都が証明してくれるようになっている。

鈴木雄一 総務委員長：

補足：広報委員会が主な活動になると思われるが、事業報告の中に支障がなければ参加いただいた方のお名前を記載させていただいて、それを提出すれば本会事業に参加したことを報告できるような方法を準備する。新たな参加リストなどを作成せずに、事業報告に参加者の名前を記載する方法を現時点では考えている。

今後の予定について（総務委員会）

鈴木雄一 総務委員長：

10月の予定は予定通り開催される。10月25日開催の中間監査に関して報告書は全て提出していただいた。総務委員会で調べて、開催はされているが事業報告書がないものに関しては、別途ご相談させていただく。

11月4日の第8回理事会を11月2日に変更させていただく。

12月の第9回理事会、役員研修会に関しては理事会だけとする。第1週目の都合が専門部で合わないこともあります。皆さまには申し訳ないが、第9回理事会は12月8日（木）に開催をする。12月の理事会は第2週であるが、専門部委員会を前倒しにする予定はない。改めて周知はさせていただく。

野口幸作 副会長：

10月の専門部は10月24日（月）に変更になっている。

鈴木雄一 総務委員長：

10月は10月22日（土）を締め切りとさせていただく。

以上

2022年 東京放射線 総目次

Vol.69 No.801~811

1月号 Vol.69 No.801

謹賀新年	1
診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 年頭所感	会長 篠原健一 4
会告1 第128回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 5
会告2 第19回ウインターセミナー	学術委員会 6
会告3 2021年度第1回災害対策研修会	SR推進委員会 7
会告4 第21回公益社団法人東京都診療放射線技師会・公益社団法人日本放射線技術学会東京支部合同学術講演会	学術委員会 8
会告5 第129回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 9
会告6 第130回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 10
お知らせ1 2021年度第9地区研修会	第9地区委員会 11
お知らせ2 2021年度第12地区研修会	第12地区委員会 12
お知らせ3 2021年度第5地区研修会	第5地区委員会 13
お知らせ4 東放技 Web開催研修会等受講方法について	学術委員会 14
お知らせ5 2020年度新入会員に対する入会特典について	16
お知らせ6 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 17
東京都功労者表彰	18
連載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査	
第1回 大腸癌と炎症性腸疾患の疫学統計について	安藤健一 20
バイブルайн	
・日本診療放射線技師連盟ニュース (2021 No.11)	27
・2022年度関東甲信越診療放射線技師学術大会	28
2021年4月～11月期会員動向	29
2021年度第7回理事会報告	30
研修会等申込書	34
登録事項変更届	35
Column & Information	
・求人情報	29
・学術講演会・研修会等の開催予定	33

2月号 Vol.69 No.802

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 T型人材	副会長 白木 尚 3
会告1 第21回公益社団法人東京都診療放射線技師会・公益社団法人日本放射線技術学会東京支部合同学術講演会	学術委員会 4
会告2 第129回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 5
会告3 第130回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 6
会告4 第131回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 7
会告5 2021年度第2回災害対策研修会	SR推進委員会 8
会告6 第73回定期総会での表彰(勤続20年)について	涉外委員会 9
お知らせ1 2021年度第9地区研修会	第9地区委員会 10
お知らせ2 2021年度第12地区研修会	第12地区委員会 11
お知らせ3 2021年度第5地区研修会	第5地区委員会 12
お知らせ4 2020年度新入会員に対する入会特典について	13
お知らせ5 東放技 Web開催研修会等受講方法について	学術委員会 14
お知らせ6 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 16

叙 勲 瑞宝双光章 17

連 載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査

　　第2回 注腸X線検査の基礎知識～大腸の解剖・生理～ 安藤健一 19

バイブルайн

・2022年度関東甲信越診療放射線技師学術大会	26
・2022年度関東甲信越診療放射線技師学術大会 演題登録	27
・日本診療放射線技師連盟ニュース (2021 No.12)	28
2021年4月～12月期会員動向	29
2021年度第8回理事会報告	30
研修会等申込書	34
登録事項変更届	35

Column & Information

・学術講演会・研修会等の開催予定	33
------------------	----

3月号 Vol.69 No.803

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 再・未来からの投影	会長 篠原健一 3
告示1 令和4・5年度代議員選挙結果について	選挙管理委員会 4
告示2 令和4・5年度役員選挙	選挙管理委員会 5
会告1 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第73回定期総会	10
会告2 2021年度第2回災害対策研修会	SR推進委員会 11
会告3 第132回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 12
お知らせ1 会費納入のお願い	経理委員会 13
お知らせ2 東放技 Web開催研修会等受講方法について	学術委員会 14
お知らせ3 2020年度新入会員に対する入会特典について	16
お知らせ4 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 17
特別企画 2022年新春座談会	18
バイブルайн	
・日本診療放射線技師連盟ニュース (2022 No.1)	29
・2022年度関東甲信越診療放射線技師学術大会	30
2021年4月～2022年1月期会員動向	31
2021年度第9回理事会報告	32
研修会等申込書	38
登録事項変更届	39

Column & Information

・求人情報	31
・東放見聞録	35、36
・学術講演会・研修会等の開催予定	37

4月号 Vol.69 No.804

巻頭言 報恩感謝	会長 篠原健一 2
会告1 第132回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 3
会告2 2022年度診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」	
(第133・135回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催)	教育委員会 4
会告3 第134回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 6
お知らせ1 クリーンデー(中央区内一斉清掃活動)	第2地区委員会 7
お知らせ2 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 8
連載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査	
第3回 注腸X線検査の撮影～前処置・前投薬・カテーテル	
挿入～	安藤健一 9

こ え

- ・「医療×3DCG」～最新のゲームCGによる次世代可視化～に参加して… 佐藤由希子 15
- ・2021年度城北支部研修会に会場参加して …… 森下沙羅 16
- ・2021年度城北支部研修会に会場参加して …… 成田拓海 17

パイプライン

- ・日本診療放射線技師連盟ニュース (2022 No.2) …… 18
 - ・2022年度関東甲信越診療放射線技師学術大会 …… 19
- 2021年4月～2022年2月期会員動向 …… 20
- 2021年度第10回理事会報告 …… 22
- 2021年度第11回理事会報告 …… 24
- 研修会等申込書 …… 26
- 登録事項変更届 …… 27
-
- Column & Information
- ・学術講演会・研修会等の開催予定 …… 21

5月号 Vol.69 No.805

- 診療放射線技師業務標準化宣言 …… 2
- 巻頭言 新緑 …… 副会長 麻生智彦 3
- 会告1 2022年度診療放射線技師のための「フレッシュアーズセミナー」
(第133・135回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催)… 教育委員会 4
- 会告2 第134回日暮里塾ワンコインセミナー …… 学術委員会 6
- 会告3 第136回日暮里塾ワンコインセミナー …… 学術委員会 7
- お知らせ1 クリーンデー (中央区内一斉清掃活動) …… 第2地区委員会 8
- お知らせ2 2022年度第1地区研修会 …… 第1地区委員会 9
- お知らせ3 東放技会員所属地区のご案内 …… 情報委員会 10
- 報 告 2021年度公益社団法人東京都診療放射線技師会アンケート調査結果
東京都診療放射線技師会会員における診療放射線技師法改正に
関する意識調査 …… 厚生調査委員会 11
- 連 載 「消化管造影検査」 第5部 大腸・注腸X線検査
第4回 注腸X線検査の撮影～基本的な考え方・部位別撮影の
ポイント (直腸・S状結腸・下行結腸)～ …… 安藤健一 21
-
- パイプライン
- ・日本診療放射線技師連盟ニュース (2022 No.3) …… 28
 - ・2022年度関東甲信越診療放射線技師学術大会 …… 29
- 2021年4月～2022年3月期会員動向 …… 30
- 2021年度第12回理事会報告 …… 31
-
- Column & Information
- ・求人情報 …… 30
 - ・学術講演会・研修会等の開催予定 …… 35

6月号 Vol.69 No.806

- 診療放射線技師業務標準化宣言 …… 2
- 巻頭言 診療放射線技師職の将来を想う願う…副会長 白木 尚 3
- 告示1 2022・2023年度役員選挙について …… 4
- 会告1 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第73回定期総会 …… 5
- 会告2 第136回日暮里塾ワンコインセミナー …… 学術委員会 6
- 会告3 第137回日暮里塾ワンコインセミナー …… 学術委員会 7
- 会告4 2021年度学術奨励賞・新人奨励賞 …… 8
- お知らせ1 2022年度第1地区研修会 …… 第1地区委員会 9
- お知らせ2 東放技会員所属地区のご案内 …… 情報委員会 10

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第73回定期総会資料

- 報 告 ・2022年度事業計画 …… 11
- I. 総括
 - II. 定款に基づく本会の事業
 - III. 委員会事業計画
- 報 告 ・2022年度予算 …… 24
- 第1号議案 ・2021年度事業報告 (案) …… 26
- I. 総括
 - II. 事業報告
 - III. 活動報告
 - IV. 活動報告 (庶務概要)
- 第2号議案 ・2021年度決算報告 (案) …… 41
- ・2021年度監査報告 …… 50
- 第3号議案 ・名誉会員推戴の件 …… 51
- 第4号議案 ・2022・2023年度役員選挙 …… 51
-
- パイプライン
- ・日本診療放射線技師連盟ニュース (2022 No.4) …… 52
 - ・2022年度関東甲信越診療放射線技師学術大会 …… 53
- 2022年4月期会員動向 …… 54
- 2021年度第13回理事会報告 …… 55
- 2022年度第1回理事会報告 …… 62
- 研修会等申込書 …… 66
- 登録事項変更届 …… 67
-
- Column & Information
- ・学術講演会・研修会等の開催予定 …… 54

7・8月合併号 Vol.69 No.807

- 診療放射線技師業務標準化宣言 …… 2
- 巻頭言 所信表明 …… 会長 麻生智彦 3
- 会告1 第137回日暮里塾ワンコインセミナー …… 学術委員会 4
- 会告2 第138回日暮里塾ワンコインセミナー …… 学術委員会 5
- 会告3 第20回サマーセミナー …… 学術委員会 6
- 会告4 第139回日暮里塾ワンコインセミナー …… 学術委員会 7
- 会告5 2022年度城東支部研修会 …… 城東支部委員会 8
- 連 載 「消化管造影検査」 第5部 大腸・注腸X線検査
第5回 注腸X線検査の撮影～部位別撮影のポイント (横行結腸・
上行結腸・盲腸)～ …… 安藤健一 9
-
- こ え
- ・「第133回日暮里塾ワンコインセミナー (新入会促進セミナー)」を受講して
… 桥塚俊和 18
- ・2022年度診療放射線技師のための「フレッシュアーズセミナー」
第133回日暮里塾ワンコインセミナーに参加して …… 平井夏乃 19
-
- パイプライン
- ・日本診療放射線技師連盟ニュース (2022 No.5) …… 20
- 2022年4月～5月期会員動向 …… 21
- 2022年度第2回理事会報告 …… 22
- 研修会等申込書 …… 29
-
- Column & Information
- ・求人情報 …… 21
 - ・東放見聞録 …… 25

・学術講演会・研修会等の開催予定	26	・日本診療放射線技師連盟ニュース (2022 No.8)	33																																																																		
9月号 Vol.69 No.808		2022年4月～8月期会員動向		34																																																																	
診療放射線技師業務標準化宣言	2	研修会等申込書	38																																																																		
巻頭言 副会長挨拶	3	登録事項変更届	39																																																																		
会告1 2022年度城東支部研修会	4	—— Column & Information ——																																																																			
会告2 日本診療放射線技師会 永年勤続表彰について 涉外委員会	5	・東放見聞録	35、36																																																																		
お知らせ1 2022年度第4地区研修会 (交流会) 第4地区委員会	6	・学術講演会・研修会等の開催予定	37																																																																		
お知らせ2 2022年度第1回第13地区研修会 第13地区委員会	7	11月号 Vol.69 No.810																																																																			
お知らせ3 東放技会員所属地区のご案内 情報委員会	8	診療放射線技師業務標準化宣言	2																																																																		
報告 瑞宝双光章	9	重要なお知らせ	3																																																																		
連載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査		巻頭言 慣れた先に成長はない 業務執行理事 鈴木雄一	4																																																																		
第6回 注腸X線検査の撮影～内視鏡検査が困難となった症例、複雑な腸管走行 (長い腸管走行) の注腸X線検査～ 安藤健一	11	会告1 第141回日暮里塾ワンコインセミナー 学術委員会	5																																																																		
こえ		会告2 2022年度城西支部研修会 城西支部委員会	6																																																																		
・「第135回日暮里塾ワンコインセミナー (新入会促進セミナー)」を受講して		会告3 2022年度城北支部研修会 城北支部委員会	7																																																																		
高野 嶽	24	会告4 第142回日暮里塾ワンコインセミナー 学術委員会	8																																																																		
パイプライン		会告5 第143回日暮里塾ワンコインセミナー 学術委員会	9																																																																		
・日本診療放射線技師連盟ニュース (2022 No.6)	25	会告6 2022年度第1回災害対策研修会 SR推進委員会	10																																																																		
2022年度第3回理事会報告	26	お知らせ1 「ちいさなボランティア活動」																																																																			
2022年度第4回理事会報告	28	使用済み切手収集のご協力について 厚生調査委員会	11																																																																		
2022年度第5回理事会報告	29	お知らせ2 JARTにおいて会費未納除籍者に債権回収委託を開始	12																																																																		
研修会等申込書	34	お知らせ3 東放技会員所属地区のご案内 情報委員会	13																																																																		
登録事項変更届	35	連載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査																																																																			
—— Column & Information ——		第8回 注腸X線検査の精度管理～注腸X線検査の臨床画像評価～																																																																			
・学術講演会・研修会等の開催予定	32	安藤健一	14																																																																		
・求人情報	33	パイプライン																																																																			
10月号 Vol.69 No.809		・日本診療放射線技師連盟ニュース (2022 No.9)	21																																																																		
診療放射線技師業務標準化宣言	2	2022年4月～9月期会員動向	22																																																																		
巻頭言 TART 東京都診療放射線技師会のこ・れ・か・ら		2022年度第6回理事会報告	23																																																																		
副会長 野口幸作	3	研修会等申込書	31																																																																		
会告1 第140回日暮里塾ワンコインセミナー 学術委員会	4	—— Column & Information ——																																																																			
会告2 第22回東放技・東京部会合同学術講演会 学術委員会	5	・求人情報	22	会告3 地球環境保全活動 荒川河川敷清掃		・東放見聞録	27	<荒川クリーンエイド2022 北区 荒川岩淵閑緑地>	6	・学術講演会・研修会等の開催予定	28	会告4 第141回日暮里塾ワンコインセミナー 学術委員会	7	12月号 Vol.69 No.811		会告5 2022年度城西支部研修会 城西支部委員会	8	診療放射線技師業務標準化宣言	2	会告6 2022年度城北支部研修会 城北支部委員会	9	巻頭言 不動心～懸念統一～ 業務執行理事 宇津野俊充	3	お知らせ1 2022年度第1回第13地区研修会 第13地区委員会	10	重要なお知らせ 会長の辞任および新会長就任のお知らせ	4	お知らせ2 「ちいさなボランティア活動」		会告1 第142回日暮里塾ワンコインセミナー 学術委員会	5	使用済み切手収集のご協力について 厚生調査委員会	11	会告2 第143回日暮里塾ワンコインセミナー 学術委員会	6	お知らせ3 会費納入のお願い	12	会告3 第20回ウインターセミナー 学術委員会	7	お知らせ4 東放技会員所属地区のご案内 情報委員会	13	会告4 第17回ペイシメントケア学術大会 学術委員会	8	報告 厚生労働大臣表彰	14	会告5 2022年度第1回災害対策研修会 SR推進委員会	9	公益社団法人東京都診療放射線技師会 第73回定期総会(抄)	16	会告6 2022年度城南支部研修会 城南支部委員会	10	2021年度 労働精勵賞(勤続20年表彰)・小野賞・地域功労賞 受賞者	25	お知らせ1 2022年度第3地区研修会 第3地区委員会	11	連載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査		お知らせ2 2022年度第4地区研修会 第4地区委員会	12	第7回 注腸X線検査の精度管理～画像評価～ 安藤健一	26	お知らせ3 2022年度第16地区研修会 第16地区委員会	13	パイプライン		お知らせ4 2022年度第9地区研修会 第9地区委員会	14	お知らせ5 2022年度厚生調査委員会アンケート調査事業	15
・求人情報	22																																																																				
会告3 地球環境保全活動 荒川河川敷清掃		・東放見聞録	27	<荒川クリーンエイド2022 北区 荒川岩淵閑緑地>	6	・学術講演会・研修会等の開催予定	28	会告4 第141回日暮里塾ワンコインセミナー 学術委員会	7	12月号 Vol.69 No.811		会告5 2022年度城西支部研修会 城西支部委員会	8	診療放射線技師業務標準化宣言	2	会告6 2022年度城北支部研修会 城北支部委員会	9	巻頭言 不動心～懸念統一～ 業務執行理事 宇津野俊充	3	お知らせ1 2022年度第1回第13地区研修会 第13地区委員会	10	重要なお知らせ 会長の辞任および新会長就任のお知らせ	4	お知らせ2 「ちいさなボランティア活動」		会告1 第142回日暮里塾ワンコインセミナー 学術委員会	5	使用済み切手収集のご協力について 厚生調査委員会	11	会告2 第143回日暮里塾ワンコインセミナー 学術委員会	6	お知らせ3 会費納入のお願い	12	会告3 第20回ウインターセミナー 学術委員会	7	お知らせ4 東放技会員所属地区のご案内 情報委員会	13	会告4 第17回ペイシメントケア学術大会 学術委員会	8	報告 厚生労働大臣表彰	14	会告5 2022年度第1回災害対策研修会 SR推進委員会	9	公益社団法人東京都診療放射線技師会 第73回定期総会(抄)	16	会告6 2022年度城南支部研修会 城南支部委員会	10	2021年度 労働精勵賞(勤続20年表彰)・小野賞・地域功労賞 受賞者	25	お知らせ1 2022年度第3地区研修会 第3地区委員会	11	連載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査		お知らせ2 2022年度第4地区研修会 第4地区委員会	12	第7回 注腸X線検査の精度管理～画像評価～ 安藤健一	26	お知らせ3 2022年度第16地区研修会 第16地区委員会	13	パイプライン		お知らせ4 2022年度第9地区研修会 第9地区委員会	14	お知らせ5 2022年度厚生調査委員会アンケート調査事業	15				
・東放見聞録	27																																																																				
<荒川クリーンエイド2022 北区 荒川岩淵閑緑地>	6	・学術講演会・研修会等の開催予定	28	会告4 第141回日暮里塾ワンコインセミナー 学術委員会	7	12月号 Vol.69 No.811		会告5 2022年度城西支部研修会 城西支部委員会	8	診療放射線技師業務標準化宣言	2	会告6 2022年度城北支部研修会 城北支部委員会	9	巻頭言 不動心～懸念統一～ 業務執行理事 宇津野俊充	3	お知らせ1 2022年度第1回第13地区研修会 第13地区委員会	10	重要なお知らせ 会長の辞任および新会長就任のお知らせ	4	お知らせ2 「ちいさなボランティア活動」		会告1 第142回日暮里塾ワンコインセミナー 学術委員会	5	使用済み切手収集のご協力について 厚生調査委員会	11	会告2 第143回日暮里塾ワンコインセミナー 学術委員会	6	お知らせ3 会費納入のお願い	12	会告3 第20回ウインターセミナー 学術委員会	7	お知らせ4 東放技会員所属地区のご案内 情報委員会	13	会告4 第17回ペイシメントケア学術大会 学術委員会	8	報告 厚生労働大臣表彰	14	会告5 2022年度第1回災害対策研修会 SR推進委員会	9	公益社団法人東京都診療放射線技師会 第73回定期総会(抄)	16	会告6 2022年度城南支部研修会 城南支部委員会	10	2021年度 労働精勵賞(勤続20年表彰)・小野賞・地域功労賞 受賞者	25	お知らせ1 2022年度第3地区研修会 第3地区委員会	11	連載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査		お知らせ2 2022年度第4地区研修会 第4地区委員会	12	第7回 注腸X線検査の精度管理～画像評価～ 安藤健一	26	お知らせ3 2022年度第16地区研修会 第16地区委員会	13	パイプライン		お知らせ4 2022年度第9地区研修会 第9地区委員会	14	お知らせ5 2022年度厚生調査委員会アンケート調査事業	15								
・学術講演会・研修会等の開催予定	28																																																																				
会告4 第141回日暮里塾ワンコインセミナー 学術委員会	7	12月号 Vol.69 No.811																																																																			
会告5 2022年度城西支部研修会 城西支部委員会	8	診療放射線技師業務標準化宣言	2																																																																		
会告6 2022年度城北支部研修会 城北支部委員会	9	巻頭言 不動心～懸念統一～ 業務執行理事 宇津野俊充	3	お知らせ1 2022年度第1回第13地区研修会 第13地区委員会	10	重要なお知らせ 会長の辞任および新会長就任のお知らせ	4	お知らせ2 「ちいさなボランティア活動」		会告1 第142回日暮里塾ワンコインセミナー 学術委員会	5	使用済み切手収集のご協力について 厚生調査委員会	11	会告2 第143回日暮里塾ワンコインセミナー 学術委員会	6	お知らせ3 会費納入のお願い	12	会告3 第20回ウインターセミナー 学術委員会	7	お知らせ4 東放技会員所属地区のご案内 情報委員会	13	会告4 第17回ペイシメントケア学術大会 学術委員会	8	報告 厚生労働大臣表彰	14	会告5 2022年度第1回災害対策研修会 SR推進委員会	9	公益社団法人東京都診療放射線技師会 第73回定期総会(抄)	16	会告6 2022年度城南支部研修会 城南支部委員会	10	2021年度 労働精勵賞(勤続20年表彰)・小野賞・地域功労賞 受賞者	25	お知らせ1 2022年度第3地区研修会 第3地区委員会	11	連載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査		お知らせ2 2022年度第4地区研修会 第4地区委員会	12	第7回 注腸X線検査の精度管理～画像評価～ 安藤健一	26	お知らせ3 2022年度第16地区研修会 第16地区委員会	13	パイプライン		お知らせ4 2022年度第9地区研修会 第9地区委員会	14	お知らせ5 2022年度厚生調査委員会アンケート調査事業	15																				
巻頭言 不動心～懸念統一～ 業務執行理事 宇津野俊充	3																																																																				
お知らせ1 2022年度第1回第13地区研修会 第13地区委員会	10	重要なお知らせ 会長の辞任および新会長就任のお知らせ	4	お知らせ2 「ちいさなボランティア活動」		会告1 第142回日暮里塾ワンコインセミナー 学術委員会	5	使用済み切手収集のご協力について 厚生調査委員会	11	会告2 第143回日暮里塾ワンコインセミナー 学術委員会	6	お知らせ3 会費納入のお願い	12	会告3 第20回ウインターセミナー 学術委員会	7	お知らせ4 東放技会員所属地区のご案内 情報委員会	13	会告4 第17回ペイシメントケア学術大会 学術委員会	8	報告 厚生労働大臣表彰	14	会告5 2022年度第1回災害対策研修会 SR推進委員会	9	公益社団法人東京都診療放射線技師会 第73回定期総会(抄)	16	会告6 2022年度城南支部研修会 城南支部委員会	10	2021年度 労働精勵賞(勤続20年表彰)・小野賞・地域功労賞 受賞者	25	お知らせ1 2022年度第3地区研修会 第3地区委員会	11	連載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査		お知らせ2 2022年度第4地区研修会 第4地区委員会	12	第7回 注腸X線検査の精度管理～画像評価～ 安藤健一	26	お知らせ3 2022年度第16地区研修会 第16地区委員会	13	パイプライン		お知らせ4 2022年度第9地区研修会 第9地区委員会	14	お知らせ5 2022年度厚生調査委員会アンケート調査事業	15																								
重要なお知らせ 会長の辞任および新会長就任のお知らせ	4																																																																				
お知らせ2 「ちいさなボランティア活動」		会告1 第142回日暮里塾ワンコインセミナー 学術委員会	5	使用済み切手収集のご協力について 厚生調査委員会	11	会告2 第143回日暮里塾ワンコインセミナー 学術委員会	6	お知らせ3 会費納入のお願い	12	会告3 第20回ウインターセミナー 学術委員会	7	お知らせ4 東放技会員所属地区のご案内 情報委員会	13	会告4 第17回ペイシメントケア学術大会 学術委員会	8	報告 厚生労働大臣表彰	14	会告5 2022年度第1回災害対策研修会 SR推進委員会	9	公益社団法人東京都診療放射線技師会 第73回定期総会(抄)	16	会告6 2022年度城南支部研修会 城南支部委員会	10	2021年度 労働精勵賞(勤続20年表彰)・小野賞・地域功労賞 受賞者	25	お知らせ1 2022年度第3地区研修会 第3地区委員会	11	連載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査		お知らせ2 2022年度第4地区研修会 第4地区委員会	12	第7回 注腸X線検査の精度管理～画像評価～ 安藤健一	26	お知らせ3 2022年度第16地区研修会 第16地区委員会	13	パイプライン		お知らせ4 2022年度第9地区研修会 第9地区委員会	14	お知らせ5 2022年度厚生調査委員会アンケート調査事業	15																												
会告1 第142回日暮里塾ワンコインセミナー 学術委員会	5																																																																				
使用済み切手収集のご協力について 厚生調査委員会	11	会告2 第143回日暮里塾ワンコインセミナー 学術委員会	6	お知らせ3 会費納入のお願い	12	会告3 第20回ウインターセミナー 学術委員会	7	お知らせ4 東放技会員所属地区のご案内 情報委員会	13	会告4 第17回ペイシメントケア学術大会 学術委員会	8	報告 厚生労働大臣表彰	14	会告5 2022年度第1回災害対策研修会 SR推進委員会	9	公益社団法人東京都診療放射線技師会 第73回定期総会(抄)	16	会告6 2022年度城南支部研修会 城南支部委員会	10	2021年度 労働精勵賞(勤続20年表彰)・小野賞・地域功労賞 受賞者	25	お知らせ1 2022年度第3地区研修会 第3地区委員会	11	連載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査		お知らせ2 2022年度第4地区研修会 第4地区委員会	12	第7回 注腸X線検査の精度管理～画像評価～ 安藤健一	26	お知らせ3 2022年度第16地区研修会 第16地区委員会	13	パイプライン		お知らせ4 2022年度第9地区研修会 第9地区委員会	14	お知らせ5 2022年度厚生調査委員会アンケート調査事業	15																																
会告2 第143回日暮里塾ワンコインセミナー 学術委員会	6																																																																				
お知らせ3 会費納入のお願い	12	会告3 第20回ウインターセミナー 学術委員会	7	お知らせ4 東放技会員所属地区のご案内 情報委員会	13	会告4 第17回ペイシメントケア学術大会 学術委員会	8	報告 厚生労働大臣表彰	14	会告5 2022年度第1回災害対策研修会 SR推進委員会	9	公益社団法人東京都診療放射線技師会 第73回定期総会(抄)	16	会告6 2022年度城南支部研修会 城南支部委員会	10	2021年度 労働精勵賞(勤続20年表彰)・小野賞・地域功労賞 受賞者	25	お知らせ1 2022年度第3地区研修会 第3地区委員会	11	連載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査		お知らせ2 2022年度第4地区研修会 第4地区委員会	12	第7回 注腸X線検査の精度管理～画像評価～ 安藤健一	26	お知らせ3 2022年度第16地区研修会 第16地区委員会	13	パイプライン		お知らせ4 2022年度第9地区研修会 第9地区委員会	14	お知らせ5 2022年度厚生調査委員会アンケート調査事業	15																																				
会告3 第20回ウインターセミナー 学術委員会	7																																																																				
お知らせ4 東放技会員所属地区のご案内 情報委員会	13	会告4 第17回ペイシメントケア学術大会 学術委員会	8	報告 厚生労働大臣表彰	14	会告5 2022年度第1回災害対策研修会 SR推進委員会	9	公益社団法人東京都診療放射線技師会 第73回定期総会(抄)	16	会告6 2022年度城南支部研修会 城南支部委員会	10	2021年度 労働精勵賞(勤続20年表彰)・小野賞・地域功労賞 受賞者	25	お知らせ1 2022年度第3地区研修会 第3地区委員会	11	連載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査		お知らせ2 2022年度第4地区研修会 第4地区委員会	12	第7回 注腸X線検査の精度管理～画像評価～ 安藤健一	26	お知らせ3 2022年度第16地区研修会 第16地区委員会	13	パイプライン		お知らせ4 2022年度第9地区研修会 第9地区委員会	14	お知らせ5 2022年度厚生調査委員会アンケート調査事業	15																																								
会告4 第17回ペイシメントケア学術大会 学術委員会	8																																																																				
報告 厚生労働大臣表彰	14	会告5 2022年度第1回災害対策研修会 SR推進委員会	9	公益社団法人東京都診療放射線技師会 第73回定期総会(抄)	16	会告6 2022年度城南支部研修会 城南支部委員会	10	2021年度 労働精勵賞(勤続20年表彰)・小野賞・地域功労賞 受賞者	25	お知らせ1 2022年度第3地区研修会 第3地区委員会	11	連載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査		お知らせ2 2022年度第4地区研修会 第4地区委員会	12	第7回 注腸X線検査の精度管理～画像評価～ 安藤健一	26	お知らせ3 2022年度第16地区研修会 第16地区委員会	13	パイプライン		お知らせ4 2022年度第9地区研修会 第9地区委員会	14	お知らせ5 2022年度厚生調査委員会アンケート調査事業	15																																												
会告5 2022年度第1回災害対策研修会 SR推進委員会	9																																																																				
公益社団法人東京都診療放射線技師会 第73回定期総会(抄)	16	会告6 2022年度城南支部研修会 城南支部委員会	10	2021年度 労働精勵賞(勤続20年表彰)・小野賞・地域功労賞 受賞者	25	お知らせ1 2022年度第3地区研修会 第3地区委員会	11	連載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査		お知らせ2 2022年度第4地区研修会 第4地区委員会	12	第7回 注腸X線検査の精度管理～画像評価～ 安藤健一	26	お知らせ3 2022年度第16地区研修会 第16地区委員会	13	パイプライン		お知らせ4 2022年度第9地区研修会 第9地区委員会	14	お知らせ5 2022年度厚生調査委員会アンケート調査事業	15																																																
会告6 2022年度城南支部研修会 城南支部委員会	10																																																																				
2021年度 労働精勵賞(勤続20年表彰)・小野賞・地域功労賞 受賞者	25	お知らせ1 2022年度第3地区研修会 第3地区委員会	11	連載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査		お知らせ2 2022年度第4地区研修会 第4地区委員会	12	第7回 注腸X線検査の精度管理～画像評価～ 安藤健一	26	お知らせ3 2022年度第16地区研修会 第16地区委員会	13	パイプライン		お知らせ4 2022年度第9地区研修会 第9地区委員会	14	お知らせ5 2022年度厚生調査委員会アンケート調査事業	15																																																				
お知らせ1 2022年度第3地区研修会 第3地区委員会	11																																																																				
連載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査		お知らせ2 2022年度第4地区研修会 第4地区委員会	12	第7回 注腸X線検査の精度管理～画像評価～ 安藤健一	26	お知らせ3 2022年度第16地区研修会 第16地区委員会	13	パイプライン		お知らせ4 2022年度第9地区研修会 第9地区委員会	14	お知らせ5 2022年度厚生調査委員会アンケート調査事業	15																																																								
お知らせ2 2022年度第4地区研修会 第4地区委員会	12																																																																				
第7回 注腸X線検査の精度管理～画像評価～ 安藤健一	26	お知らせ3 2022年度第16地区研修会 第16地区委員会	13	パイプライン		お知らせ4 2022年度第9地区研修会 第9地区委員会	14	お知らせ5 2022年度厚生調査委員会アンケート調査事業	15																																																												
お知らせ3 2022年度第16地区研修会 第16地区委員会	13																																																																				
パイプライン		お知らせ4 2022年度第9地区研修会 第9地区委員会	14	お知らせ5 2022年度厚生調査委員会アンケート調査事業	15																																																																
お知らせ4 2022年度第9地区研修会 第9地区委員会	14																																																																				
お知らせ5 2022年度厚生調査委員会アンケート調査事業	15																																																																				

お知らせ6	JART終身会費免除申請 終了のお知らせ	16	・日本診療放射線技師連盟ニュース (2022 No.10)	29
お知らせ7	東放技会員所属地区のご案内	17	2022年4月～10月期会員動向	30
連載	【消化管造影検査】第5部 大腸・注腸X線検査 第9回 注腸X線検査の精度管理～臨床画像評価を意識した撮影法の工夫～	18	2022年度第7回理事会報告	31
			2022年東京放射線総目次	35
			研修会等申込書	39
こえ			Column & Information	
・城東支部研修会に参加して	長谷川浩章	27	・東放見聞録	30
・城東支部研修会に参加して	河手 健	28	・学術講演会・研修会等の開催予定	38
パイプライン				

学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

2022年度

1. 学術研修会

第23回メディカルマネジメント研修会	未定
☆第20回ウインターセミナー ハイブリッド開催	2023年1月28日(土)

2. 生涯教育

第71回きめこまかん生涯教育	2023年3月
----------------	---------

☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー

第142回日暮里塾ワンコインセミナー Web開催	2022年12月12日(月)
第143回日暮里塾ワンコインセミナー Web開催	2023年1月11日(水)

4. 集中講習会

第13回MRI集中講習会	未定
--------------	----

☆5. 支部研修会

城南支部研修会 Web開催	2023年3月10日(金)
多摩支部研修会	2023年3月3日(金)

6. 地区研修会

第3地区研修会 ハイブリッド開催	2023年2月3日(金)
第4地区研修会 ハイブリッド開催	2023年2月8日(水)
第16地区研修会 ハイブリッド開催	2023年2月10日(金)
第12地区研修会 Web開催	2023年2月17日(金)
第9地区研修会 Web開催	2023年2月28日(火)

7. 専門部委員会研修会

第17回ペイシエントケア学術大会 ハイブリッド開催	2023年2月4日(土)
災害対策研修会 Web開催	2023年3月4日(土)

8. 東放技参加 行政祭り等

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回	
開催日	令和 年 月 日() ~ 月 日()	
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック	
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [] 県	
ふりがな		
氏名		
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 []	
	TEL (必須)	
	FAX	
	メール (PCアドレス)	
備考		

FAX 03-3806-7724
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所

Postscript

11月8日は皆既月食と天王星食でした。この日は多くの人が夜空を眺めていたようで、私も仲間たちと天体ショーの画像を共有したり、大喜利状態のメッセージのやり取りをしたりして楽しみました。それぞれが違う場所で同じ月を見て、楽しい時間を共有している…なかなかよいものです。

月といえば夏目漱石が英語教師をしていた時の逸話が有名です。教え子が「I love you」を「我君を愛す」と翻訳した際に、「日本人はそんなことは言わない。月が綺麗ですねとでも訳しておけ」と言ったとのこと。さすが文豪！詩的な愛の伝え方であると評されていますが、実際に漱石がそう言ったという文献や証拠は残っておらず、どうやら都市伝説らしいというのが現在では有力な説のようです。一方、教え子とのささやかなやり取りをいちいち文献に残さないのでは？という疑念とともに、そもそも漱石＝ロマンチスト説に私はちょっとした違和感を抱きます。漱石は綺麗な月に愛を託すような人物だったのでしょうか？

彼はデビュー作「吾輩は猫である」にはじまり、国語の教科書にも載っていた「こゝろ」、人気作品の「坊つちゃん」

「三四郎」などの多くの小説のほかに隨筆、詩集を執筆しています。これらを通してみる彼の作風は詩的・叙情的というよりも、どちらかというと分析的でアイロニカルです。つまり、作風から考える夏目漱石像で読み解く「月が綺麗ですねとでも訳しておけ」はロマンチックで奥ゆかしい表現ではなく、軽いアイロニーであるというのが私の見解です。某漫画に出てくる「そこらへんの草でも食わせておけ！」というセリフに近い意味合いのような気がしてなりません。もちろん、ふたりが同じ月を見て綺麗と感じ、美しさに共感して心を通わせるという解釈は叙情的で素敵だと思います。当然、正解は分かりません、実際は本人のみぞ知る、です。

次に皆既月食が日本で見られるのは2025年9月8日で3年後となります。今年最後の星空の見どころ、ふたご座流星群の極大は14日22時です。都内だと街明かりがあるのでちょっと難しいかもしれません、風邪をひかないように温かい服装で夜空を観察してみてくださいね。私は葡萄酒を片手に「それから」を読みながら、流れ星を待つとしましょう。

〈Chai姉〉

■ 広告掲載社

富士フィルムメディカル(株)
コニカミノルタジャパン(株)
キヤノンメディカルシステムズ(株)
光製薬(株)

東京放射線 第69巻 第11号

令和4年11月25日 印刷 (毎月1回1日発行)

令和4年12月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号

〒116-0013 公益社団法人東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人東京都診療放射線技師会

会長 江田 哲男

振替口座 00190-0-112644

電話 東京(03)3806-7724 <https://www.tart.jp/>

印刷・製本 株式会社キタジマ

事務所 執務時間 月曜～金曜 9時30分～17時00分

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日は執務いたしません

TEL・FAX (03)3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

岩井譜憲

森 美加

高橋克行

田沼征一